

第 六 次
柏市芸術文化振興計画

令和8年度～令和12年度

第1回柏市文化振興審議会（R7.7.4）へ提示の事務局案

柏市教育委員会

目 次

第1章 計画の策定にあたって	
計画の背景と趣旨	2
計画の位置付け	2
計画の期間	4
行政に求められる役割	4
第2章 文化行政を取り巻く動向	
国及び県の動向	5
「教育・生涯学習・芸術文化に関するアンケート」から見える傾向	6
取り組むべき課題	8
第3章 芸術文化のさらなる振興の実現に向けて	10
＜基本方針・施策体系＞	10
施策の柱 ① 芸術文化へのアクセシビリティの向上	11
施策の柱 ② 芸術文化を通じた地域とのつながり形成	12
施策の柱 ③ 子どもたちが芸術文化に親しむ機会の提供	13
施策の柱 ④ 若い世代の芸術文化活動への支援	14
施策の柱 ⑤ 柏らしさを活かしたまちづくりの推進	14
参考資料「教育・生涯学習・芸術文化に関するアンケート報告書」より	16
文化振興審議会 審議経過	45
柏市文化振興審議会委員名簿	46

第1章 計画の策定にあたって

計画の背景と趣旨

本計画は、市の総合計画の文化振興部門計画として平成12年度に「柏市芸術文化振興計画」を策定し、その後、5年ごとに見直しを行い、柏市の文化の振興、柏らしさあふれる文化の創出に取り組んでまいりました。

芸術文化は単なる娯楽や趣味の領域にとどまるものでなく、社会の豊かさを育む基盤です。

令和6年度に行った芸術文化に関する市民意識調査では、柏市の文化活動が盛んだと回答した市民が3人に1人はいるものの、5年前に行った調査と比較し、盛んだと思う市民が増えていないことが分かりました。市民の多くが芸術文化関連の鑑賞をしたいという意欲がある一方で、自らの活動につなげることに課題があります。柏市で盛んだと思う活動は音楽であると考えている方が最も多いですが、「建造物や遺跡」の分野の活動に参加してみたいと考える方も一定数見られました。また、回答者の9割を超える方が、子どもたちが芸術文化に触れることは大切だと考えています。今回の調査では小学生、中学生、高校生にも調査を行い、身近な環境で楽しめるカテゴリーに強い関心があるという結果が分かりました。芸術文化は身近な日常の中にあるものであって、そのカテゴリーは多岐にわたるものとしての認識を広めていくことが必要であり、より気軽なものとして芸術文化に触れられる機会が望まれています。

本計画においては、これらを踏まえ、吹奏楽などの柏の特色を活かしながら、誰もが生活の中で芸術文化に触れることができるような機会を創出し、次世代を担う子どもたちを含めた芸術文化を支える人材の育成を行います。令和7年3月に策定された柏市第六次総合計画においては、これまで柏市がベッドタウンとして成長してきた過去から転換し、先人たちが築いてきた文化や市の強みをさらに磨き上げ新たな価値を生み出すまちづくりを掲げています。より日常的に文化を感じられるまちとして取り組むことで、自らが住むまちへの誇りや愛着の醸成につながっていくことや、市内外から魅力を感じてもらえるまちづくりを目指します。

計画の位置付け

柏市芸術文化振興計画は、柏市が定める「柏市第六次総合計画」において、芸術文化に関する部門計画として位置付けられています。

柏市芸術文化振興計画の策定にあたっては、上位計画である柏市第六次総合計画との整合性に留意するとともに、その他の関連計画との連携を図りながら、

必要な施策を計画的かつ継続的に運営可能にする方策を体系化します。



柏市第六次総合計画における芸術文化の位置付け

令和7年度から令和16年度までの10年間を計画期間とする「柏市第六次総合計画」では、将来の姿として、

「柏に関わる一人ひとりが想いを実現できるまち
～多様な価値や人々がつながり、新たな価値の創造に挑戦～」
を掲げています。

また、本計画の基本的目標の一つとして「もっと、地域の個性が輝くまちへ」が位置付けられています。施策体系として「生涯学習・文化」として3つの方向性を定めており、まちへの誇り、愛着、定着を高めるためには芸術文化の果たす役割は大きいと捉えています。

柏市教育行政重点化方針との整合性

教育委員会では「柏市教育行政重点化方針」を毎年掲げこれに基づき各種事業展開をしてきました。この中で、文化に関する記述において「柏市芸術文化振興計画」に沿った施策を展開するとしています。

計画に関する進捗については、毎年行う「教育に関する事務の点検と評価」を通して定期的な確認を行い、継続的に改善に取り組んでいます。

計画の期間

本計画の期間は、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間となります。

R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
柏市第六次総合計画									
第六次柏市芸術文化振興計画					第七次柏市芸術文化振興計画				

行政に求められる役割

市の文化振興を推進していく上では、個人による活動を始め、市内で芸術文化活動を行う団体、NPO、ボランティア団体等、そして行政などの文化振興の担い手が、それぞれの役割を果たしながら、互いに連携を図っていくことが重要であり、相互がうまく連携しながら事業展開することにより、より大きな効果をもたらされることが期待されます。公共の文化施設の運営についても一部を指定管理者が担うことにより、民間のノウハウを活かして創意工夫を凝らすことや、サービスの質の向上が期待できます。

行政としては、柏市の特色や強みを見出し推進していくことや、地域のニーズに合わせた政策が必要です。市民参加型の文化活動の支援の場を設け、地域に根差したアートイベントを実施したり、参加しやすいコンサートを開催して芸術文化の裾野を広げるなどの取組みが求められます。また、事業を主体的に進めるだけでなく、互いに連携して役割分担をしながらともに創り上げる関係性も重要です。文化施設などを誰もが利用しやすい開かれた空間とすることや、併せて芸術文化に関する情報提供の充実を図ることなども挙げられます。さらに、伝統文化を次世代に継承していくための取組みや、学校教育・地域と連携し誰もが芸術文化に親しめる魅力的なまちづくり推進なども求められています。

第2章 文化行政を取り巻く動向

国及び県の動向

①文化芸術基本法（平成29年（2017）6月）

文化芸術振興基本法（平成13年（2001）12月）において、地方公共団体の責務として、「国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、実施する」と規定しています。

平成29年（2017）6月に一部改正され、名称が「文化芸術基本法」とされるとともに、文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野における施策との有機的な連携を図ることなどについて規定されました。前文の一部に「文化芸術により生み出される様々な価値を生かして、これまで培われてきた伝統的な文化芸術を継承し、発展させるとともに、独創性のある新たな文化芸術の創造を促進することは、我々に課された緊要な課題となっている。」とあります。

また、地方自治体については、地方の実情に即した文化芸術の推進に関する「地方文化芸術推進基本計画」を定めるよう努めるものとされました。

②文化芸術推進基本計画

文化芸術基本法の規定に基づき、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため策定されており、第2期基本計画は令和5年度から令和9年度において推進する取組みが示されています。

③第2次千葉県文化芸術振興基本計画

令和7年3月に策定され、千葉県文化芸術の振興に関する条例における基本理念を踏まえ、文化芸術の施策の総合的な推進を図り、あらゆる人々が文化芸術に親しみ、交流することで創り育む心豊かな県民生活と活力ある地域社会を目指すことが盛り込まれています。また、文化芸術の考え方について身近で幅広いものとして捉え、誰もが自信を持って自己表現できることを目指しています。

「教育・生涯学習・芸術文化に関するアンケート」から見える傾向

柏市文化芸術文化振興計画の見直しにあたって、市民意識調査を実施しました。

対 象	柏市に住民登録をされている18歳以上の市民4,000名（無作為抽出）
方 法 ・ 期 間	郵送による配布，郵送・WEBによる回収 令和6年12月5日から令和6年12月27日まで
有 効 回 答 数	配布数：14,369名 内訳：市民4,000名・小中学生10,049名・高校生320名 回収数：8,708名（回答率63.1%）※無効票を除く 内訳：市民1,574名・小中学生6,874名・高校生260名
調 査 内 容	資料（P●●）のとおり ※本計画の参考資料として「教育・生涯学習・芸術文化の3分野のアンケート」のうち芸術文化の分野を抜粋。教職員へのアンケート項目には芸術文化分野が含まないため掲載しない。

調査結果から見える主な傾向

【市民】

1 芸術文化に対する認識の変化

柏市が「芸術文化が盛ん」と感じる割合が減少（37.7% → 32.3%）。

過去の調査から一貫した伸びは見られず、「あまり思わない」が増加（23.2% → 37.5%）。

→ 市民の評価は横ばいまたは後退傾向。文化施策の浸透度として市民の実感につながっていない可能性がある。

2 盛んだと感じる分野

最も多かったのは音楽活動で、音楽以外の分野は全て10%未満。

→ 音楽活動は高評価だが、他分野は全て10%未満という偏りがあり、音楽以外のジャンル認知度が低い。

3 芸術文化への関心

鑑賞したい：80.2% 活動したい：51.5%

（鑑賞したいジャンル：クラシック，吹奏楽，絵画，ミュージカル）

（参加したいジャンル：絵画，建造物・遺跡，書道，クラシック）

→ 市民は鑑賞を通じた芸術文化との関わりを強く望んでいる。自ら発信・創作したい意欲は一定数あるが、受動的な関わりが主流。

4 参加をためらう理由

きっかけ・機会がない：50.8%

学校や仕事で時間がない：28.1%

関心がない：25.6%

→ 「関心はあるが参加できない」と考える人が多い。

自由に時間を選べるもの（43.8%）や市主催・無料で参加できるもの（29.5%）が望まれている。

5 情報入手手段

全体最多：ホームページ（44.2%）

若年層（10～30代）：SNS，動画配信

中高年層（40代～）：ポスター，チラシ，新聞・雑誌の比率増加

→ 年代により求められる広報媒体が異なる。

6 芸術文化に求めるもの

心の癒し・元気になるもの：70.6%

教養を深める（自己啓発）：38.5%

非日常の体験（特別感）：33.0%

→ 精神的な充足や、日常からの開放感を求めている。コロナ禍以降の社会傾向とも関連する可能性がある。

7 次世代への芸術文化継承

「子どもにとって大切」：91.6% が「そう思う」

→ 最も重視されている方法は、学校での鑑賞機会（62.3%）であり、次いでワークショップ（33.6%）や文化施設での支援（33.2%）も求められている。

8 歴史・文化財イベントの関心

市内全域の見学ツアー：30.9%

地元地域の見学ツアー：25.9%

→ 歴史文化への関心はあるが、限定的である。

【高校生】（市立柏高等学校）

1 芸術文化への関心

芸術文化を「鑑賞したい」と考えている人の割合は61.1%と高い一方で、「自ら活動したい」と考える人は39.3%にとどまり、鑑賞意欲の方が活動意欲を大きく上回っている。また、活動を望まない理由として最も多かったのは「関心がない」で、65.8%に上った。

2 鑑賞したい芸術文化の分野

特に人気が高かった分野： J-POP，映画，吹奏楽

3 芸術文化の重要性に対する認識

「関心がない」と多数の回答がある一方で「これからの人生において芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思うか」という問いに対しては、71.9%の人が「思う」と回答しており、現在は関心がなくとも将来的には必要だと感じている生徒が多数いると考えられる。

4 情報入手手段

芸術文化に関する情報の主な入手手段としてはSNSが最多（62.3%）であり、デジタル媒体の影響力の大きさがうかがえる。

【小中学生】

1 好きなものについて

「映画，マンガ，アニメなどのエンターテインメント」が72.7%と最も多く、「音楽」が60.5%で続いた。

2 やってみたいことについて

「映画，マンガ，アニメなどのエンターテインメントをみること」が59.7%、「楽器を演奏したり、歌をうたうこと」が42.6%と多く、自宅や学校の授業の中で体験したいという回答が多かった。

取り組むべき課題

「教育・生涯学習・芸術文化に関するアンケート」の結果及び第五次計画の期間中に見えてきた今後の課題については以下のとおりです。

・柏市は芸術が盛んだと感じている方は全体の3分の1程度にとどまっており、イメージアップのための方策が求められる。

・「盛んだと思う」活動の分野について「音楽活動」が突出して上位にある一方で、今後参加したい活動については「音楽」だけでなく「文化財・歴史」や「美術」も一定数見られる。このことから、柏市は「音楽のまち」としてある程度イメージが浸透しつつあり、音楽以外の活動についてもある程度のニーズがあると考えられ、偏りのない芸術文化行政の推進が求められる。

・幅広い世代，地域を対象に芸術活動に参加できる「きっかけや機会」を増やすことが求められている。単にイベントを増やすだけでなくアクセスのし

やすさ、平日・休日・夜間など多様な時間帯の開催、想定来場者ごとの企画設計などの工夫が必要である。また、「関心がない」と回答した10歳代及び20歳代の割合は50%に上ったことから、学校や暮らしの中の身近な環境で芸術文化に触れる機会を増やし、子どもたちや若い世代が親しみをもって接することができるような工夫が必要である。

- ・市などが主催することにより安心して無料または安価で参加できる活動が求められている。また30歳代では託児付きのものを求める声もあり、育児中であることが理由で参加しづらい方がいる。

- ・情報の取得方法について、幅広い年代の方が無理なく情報にアクセスできるように媒体を工夫する必要がある。

- ・柏市では次世代に芸術文化を伝える取組みとして、全国調査と同様に学校にでの公演鑑賞が上位であり、子どもたちが等しく芸術文化に触れることのできる場として学校生活の中での機会づくりが必要である。加えて「ワークショップ（体験教室）の開催」が求められている。

- ・「歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアー」への関心は限定的ではあるが一定のニーズはあるため、解説付きで各地を巡る形式とする他、魅力ある市の文化財に関して認知度を上げるための方策として学びと体験の融合を試みたり、芸術文化との組み合わせたりするなど、より参加しやすくなるような工夫が必要である。

- ・本市において部活動・特設クラブのあり方について見直しが進んでいる。小学校における吹奏楽クラブについては令和6年度までにほとんどの学校で廃部となり、令和8年度からは原則活動しないこととなっている。中学校においても、土日の部活動が地域移行となり、学校では行わないこととなった。土日の活動として地域クラブに加入する子どもたちは増加しているが、利用者負担もある中で、すべての子どもたちがこれまでと同様に楽器に親しむ機会があるわけでない。

- ・沼南庁舎にある「郷土資料展示室」では美術品や歴史資料、文化財を定期的に展示しているが、規格や規模が限られており展示内容に制限がある。街の中心など多くの方が訪れやすい立地に位置していないことなどもあり、来場者数が伸び悩んでいる。また市の所蔵する美術作品について公開できていないものも多く、作品の魅力が浸透していない。

- ・芸術文化の概念が多様化しており、年代や性別によらず、求めているカテゴリーが多岐にわたるため、さまざまな方面からのアプローチが必要。

- ・芸術文化に積極的に関わる機会がなかった方や、遠方へ足を運ぶことが難しい方について、きっかけが必要である。

- ・伝統文化を継承する人材が不足している。

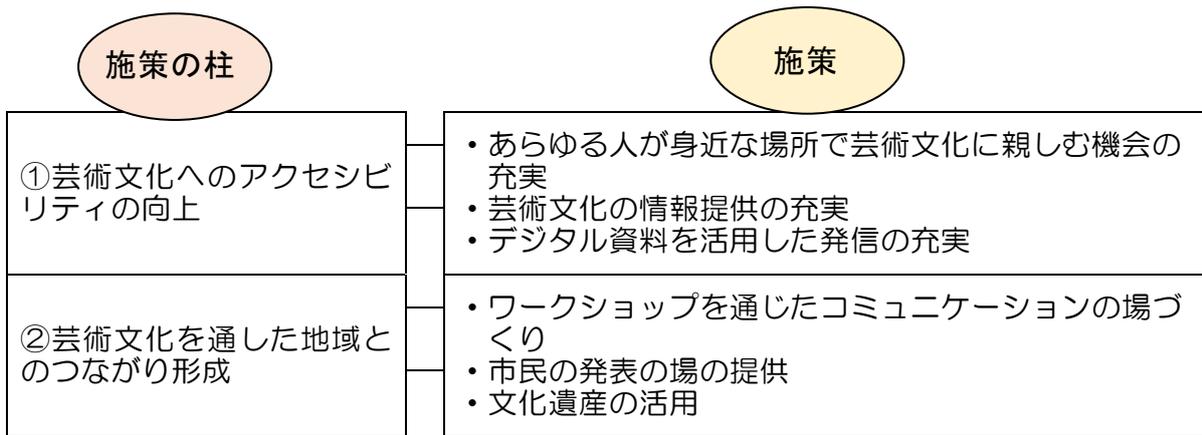
- ・文化芸術活動の担い手として、民間との連携強化が必要。

第3章 芸術文化のさらなる振興の実現に向けて

アンケート結果やこれまでの事業の取組内容の課題から見えた課題を踏まえ、本計画において基本方針に基づく本市の文化振興の目指すべき状態の実現に向けて、次のとおり施策体系を定めます。

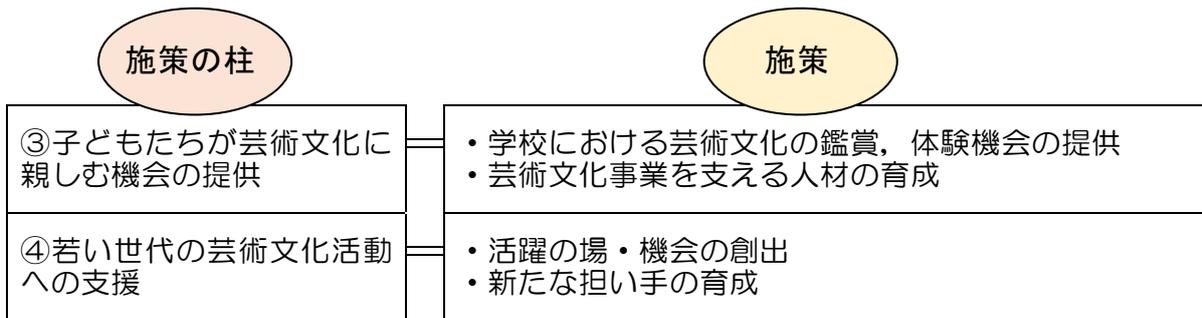
基本方針 1 地域に根ざした市民文化活動の育成と支援

誰もが芸術文化に触れることができ、親しみ、楽しむことができる環境の一層の充実を図る。



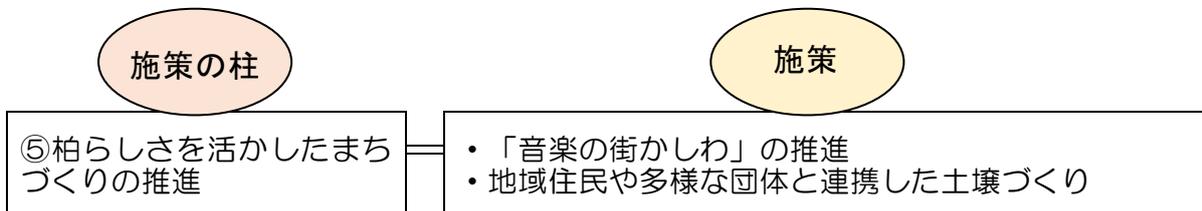
基本方針 2 未来の文化創造を担う人材の育成

子どもたちや若い世代が芸術文化に自ら関わっていくことで、豊かな心を醸成し、文化活動を担う人材を増やす。



基本方針 3 柏の魅力を体現する芸術文化の創出と推進

芸術文化の取組みを通じて地域を活性化し、特色ある文化活動が認知され、市民がまちへの一層の誇りと愛着をもつとともに、市内外から魅力を感じられるまちづくりを行う。



あらゆる人が身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実

芸術文化が一部の方のみのものでなく、身近で気軽に触れることのできるものとして、文化会館のようなホールだけでなく、地域のなじみのある場所や街中で楽しめるアウトリーチ型のコンサートを開催します。自ら遠方に出向くことが難しい方や日中の参加が難しい方など様々な状況があることを踏まえ、地域の施設で開催したり、夕方以降の時間帯で開催したりなど、年齢、性別、国籍、障害の有無などにかかわらず多くの方が楽しめる機会を提供します。

また本市が所蔵している美術作品は800点にも及ぶ寄贈作品があり、様々な柏市ゆかりの美術作家の作品を保管しています。その中でも故砂川七郎氏から寄贈を受けた人間国宝・芹沢銈介と板画家・棟方志功作品を合わせた約600点は内外からも高い評価を受けています。近年、芹沢銈介作品展を毎年実施していますが、訪れた方からは大変好評で継続開催を望む声が多いため、今後も定期的開催します。身近な場所でアートに触れることのできる環境は心の豊かさの醸成につながり、柏市ゆかりの美術作家を知ることは、自らが住むまちへの愛着をもつ要素となります。引き続き作品を適正に保存するとともに、柏市民ギャラリーや郷土資料展示室での企画展を行い、実物を鑑賞していただく機会を提供します。

また、不特定多数の市民が触れたり参加したりできるような公益性の高い事業については、市が共催する等の支援を行うとともに、文化振興に資する事業については後援を行うことで市民の参画意識を促していきます。行事の共催・後援については、令和6年度は件数が153件に上りました。コロナ禍に縮小せざるを得なかった柏の文化活動が徐々に再開されています。

芸術文化の情報提供の充実

芸術活動に参加できるきっかけや機会を求めている方が多いことから、指定管理者とも連携しながら広く情報を発信します。市の所蔵美術品や主催の音楽イベント等を多くの方に知っていただけるよう、ウェブサイトやSNSを活用し、アーカイブを掲載し随時更新するなどの分かりやすさ・見やすさの工夫を図っていきます。また、年代や生活形態などにより、使いやすい情報媒体が異なることから、イベントの内容に応じて効果的な情報発信に努めます。SNSの発信と地域紙・ポスターを組み合わせたハイブリッド型や、若年層が共感しやすい短尺動画を作成するなど伝わる広報を行います。さらに、近隣の美術館や音楽イベントについても、窓口や郷土資料展示室、市内文化施設、各近隣センターなどで広報物を掲示します。

デジタル資料を活用した発信の充実

市が所蔵する芸術作品について資料のデジタル化を進め、インターネット環境で

誰でも見ることのできる環境を整えます。郷土資料展示室にこれまで訪れたことがない方や市外の方にも本市の作品について知ってもらい、興味を持ったかたが美術企画展へ実際に足を運んでいただけるよう魅力的な情報発信を行います。また、イベントの動画配信等も引き続き行い、ライブ鑑賞の機会につながる興味関心の醸成に努めます。

施策の柱② 芸術文化を通じた地域とのつながり形成

ワークショップを通じたコミュニケーションの場づくり

芸術文化に関するワークショップは、そのテーマへの理解を深めながら、非日常の体験を楽しむことができるものです。同時に、自らの創造・表現を通じて、参加者どうしのコミュニケーションを深める有効な手段であるとも言えます。音楽やアートを通じて、相手に共感したり協力したりしながら、リラックスした環境の中で対話しコミュニケーションを深めることができます。

市民の発表の場の提供

柏市には以下のとおり、活用できる文化施設があります。

○柏市民ギャラリー

柏駅南口より徒歩3分の利便性の良い場所にあり、年間を通じて、市民の美術・工芸作品の発表の場として活用されています。

○柏市民文化会館及びアミューゼ柏

多くの収容人数が確保でき、コンサート等のホールとして活用されています。

○沼南近隣センター（代替施設）

令和7年3月をもって閉館しましたが、代替施設である沼南保健センターを活用し、令和7年9月から南東地域の市民文化活動団体の文化活動の拠点として引き続き活用されています。

○さわやか県民プラザのホール、県民ギャラリー

県立の施設ですが、北部市域の文化活動の拠点として活用されています。

市では毎年、柏市文化連盟とともに柏市文化祭を開催し、さまざまなジャンルの文化芸術の鑑賞・発表の場を提供しています。芸術文化団体に属さない個人の参加も可能であり、普段発表の機会がない市民の発表の場にもなっています。

今後も、市民一人一人が芸術活動を自由に楽しんでもらうとともにその発表を通じてより多くの市民が文化芸術を鑑賞できる環境づくりに取り組んでまいります。

文化遺産の活用

柏市内には数多くの文化財があります。国の重要文化財に指定されている旧吉田家住宅（花野井）の活用として、主屋を会場に開催する「土間コンサート」はこれまで10回以上開催しています。染谷家住宅（鷲野谷）は国登録有形文化財に登録されており、令和6年秋にスタートした一般公開に先駆け、令和5年度からコンサートを開催しています。染谷家住宅では、演奏を楽しむだけでなく、学芸員による文化財や歴史に関する解説を聞くことができるプログラムとしており、幅広い層の方の来場が期待できます。今後も市の財産である文化遺産の活用を図り、芸術事業とのコラボレーションをすることで、新たな興味関心の開拓への相乗効果が期待できるため、芸術文化と歴史文化財の両面から柏の魅力を再発見する工夫を行います。

施策の柱③ 子どもたちが芸術文化に親しむ機会の提供

学校における芸術文化の鑑賞、体験機会の提供

芸術文化は次世代を担う子どもたちの豊かな感性や創造性を育むため、とても大切なものです。幼児や児童生徒の鑑賞機会や体験機会の充実を図ります。

具体的には、中学校在学中に1回は学校でプロオーケストラ演奏を鑑賞できる機会「中学音楽鑑賞教室」を提供しており、この事業は、鑑賞するのみでなく、指揮者体験や演奏に合わせた生徒たちの合唱など、一体感を持てるよう工夫されています。小学校においても、「子ども向け芸術鑑賞会」として柏ゆかりのプロの音楽家による演奏を子どもたちにとって身近な学校で楽しむことができる機会を提供します。芸術文化に興味がなかったり、触れる機会のない子どもたちにも機会を提供し、興味のきっかけづくりにつながるよう推進するとともに、若い感性で芸術に触れることにより豊かな心を醸成することを目指します。

芸術文化事業を支える人材の育成

次世代を担う人材の育成は不可欠ではありますが、学校の部活動・特設クラブ活動が減少しつつある中、音楽に触れる機会の提供のため、小中学生の吹奏楽部員の体験型ワークショップ「かしわ塾」を引き続き実施します。土日の地域クラブ活動を担う団体や教育委員会内でも連携を図り、より多くの希望する子どもたちが参加できるように調整します。

施策の柱④ 若い世代の芸術文化活動への支援

活躍の場・機会の創出

市の芸術文化活動の裾野を広げていくためには、芸術活動の普及を担っていく人材の育成・支援が欠かせません。これまでも柏ゆかりの若手アーティストに柏市主催の文化イベントへの出演や作品の提供を依頼して、広く知っていただく機会を提供してきました。引き続き「アウトリーチコンサート」や文化財を活用した「土間コンサート」等への出演、柏市文化祭リーフレットへの掲載を通して、若手アーティストが不特定多数の前で公演し多くの方が鑑賞できる場の提供、多くの方が手に取り目にする機会の提供を行います。

新たな担い手の育成

文化事業を支える人材の育成として、市の芸術柏市民ギャラリーの指定管理者において実施する自主事業・提案事業との連携を始め、市内で活動するイベント企画団体との連携やサポートをしたいと考えている市民が、より参加しやすくなるような環境づくりを推進してまいります。また、これまで地域の文化継承と発展に貢献してきた柏市文化連盟においても、後継者育成活動に力を入れており、本市としてもその活動を支援していきます。柏市文化連盟の提案をきっかけに柏市文化祭の新たな取組みとして始まった「中・高生ミライ芸術展」は、若い力溢れる作品展として好評であり、今後も引き続き開催します。

施策の柱⑤ 柏らしさを活かしたまちづくりの推進

「音楽の街かしわ」の推進

柏市には、もともと市立柏高等学校吹奏楽部の活躍を始めとする音楽活動が知られていた土台があり、全国大会で金賞を受賞するレベルの小中学校吹奏楽部も多く、その流れで大人になっても吹奏楽団に入団し活動する人も増えてきています。市として、上位計画である「柏市第五次総合計画（前期計画）」（平成28年3月策定）に「音楽の街かしわ」を重点事業として掲げ、まちなかで自然に音楽が響く事業の取組みを推進した結果、さまざまな機会を通じて音楽と触れ合う機会が増え、柏市が音楽が盛んであるという結果につながったものと考えられます。

今後も「音楽の街かしわ」がさらに広く認知されるよう推進していく必要があります。

また学生の吹奏楽部の活躍のみならず、より一層市内で活動する市民吹奏楽団や吹奏楽イベントの企画をする団体との連携を図ります。商業施設で行っている「らぽーとミュージックふえすた」では、毎年多様な団体が演奏を行い、来場者は日

常の中で音楽を楽しむことができます。吹奏楽と他のジャンルの連携を促す等、吹奏楽を原動力としながらも音楽全体として市内外にアピールできるよう「音楽の街かしわ」を推進していきます。新たな芸術ジャンルの普及の後押しをしながらも、この柏の強みをさらに活かしていきます。

地域住民や多様な団体と連携した土壌づくり

芸術文化活動をしていない人たちに、接するきっかけを作るためには、日常訪れる商業施設やまちなかにおいてイベントが日常的にあふれ、市内外に広く発信されていることも有効です。

ジャンルを超えた団体の交流やコラボレーションがイベントの幅を広げることも繋がり、新たな関心が生まれることも期待できるため、様々な場面で活動する団体や施設とも積極的に連携の促進を図り、ホールや美術館に行かなくても身近に感じることでできる環境づくりを推進します。常磐線沿線の8自治体・JR東日本・東京藝術大学で構成されている「JOBANアートライン協議会」や柏のまちをアートで盛り上げている「アートラインかしわ」の活動では、まちの中でアートに出会う企画やアートワークショップなどを展開しています。「芸術文化」とはこういうものだという既存の価値観にとらわれずに、身近な日常にあるアートに対する“気付き”を促すことを推進していきます。この気付きによる“日常に育まれる感性”をより多くの市民が共有することが、今後、まちづくりが進む中で、どのようなアート活動のための場が求められているのかを模索する第一歩につながるものと考えます。芸術文化は、人と人をつなぎ、地域を豊かにする力を持っています。人々が生活の中にある文化や芸術に触れ、表現することを楽しみ、交流が生まれる土壌を育てていくことを目指します。

参考資料

教育・生涯学習・芸術文化に関するアンケート報告書より

I 調査の概要

1 調査の目的

柏市では、「教育振興計画」「生涯学習推進計画」「芸術文化振興計画」の次期計画策定に当たり、有意義かつ実効性のある計画とするため、調査を実施しました。

2 調査対象

柏市に住民登録をされている16歳以上の市民

市立小中高等学校に通う児童生徒

市立小中高等学校の教職員

3 調査期間

令和6年12月5日～令和6年12月27日

4 調査方法

郵送による配布、郵送・WEBによる回収

5 回収状況

対 象	配 布 数	有効回答数	有効回答率
全 体	17,243 通	9,623 通	55.8%
1 市民	4,000 通	1,574 通	39.4%
2 小中学生	10,049 通	6,874 通	68.4%
3 高校生	320 通	260 通	81.3%
4 教職員※	2,874 通	915 通	31.8%

※教職員へのアンケート項目には芸術文化分野が含まれない。

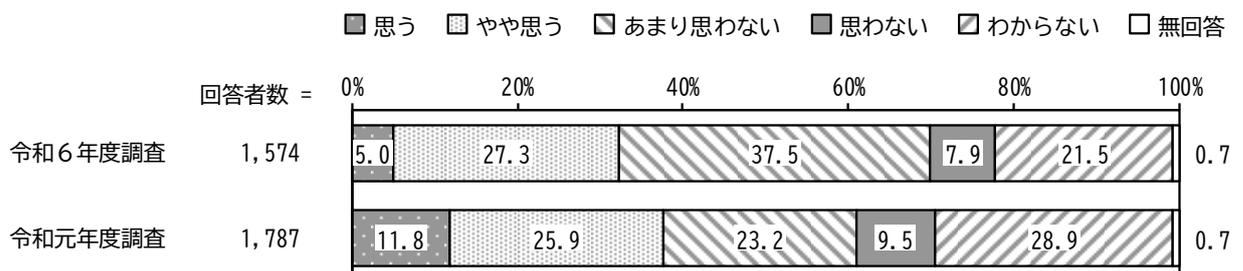
<芸術文化分抜粋>

1 市民

問 24 あなたは、柏市は芸術文化活動が盛んだと思いますか。(○は1つ)

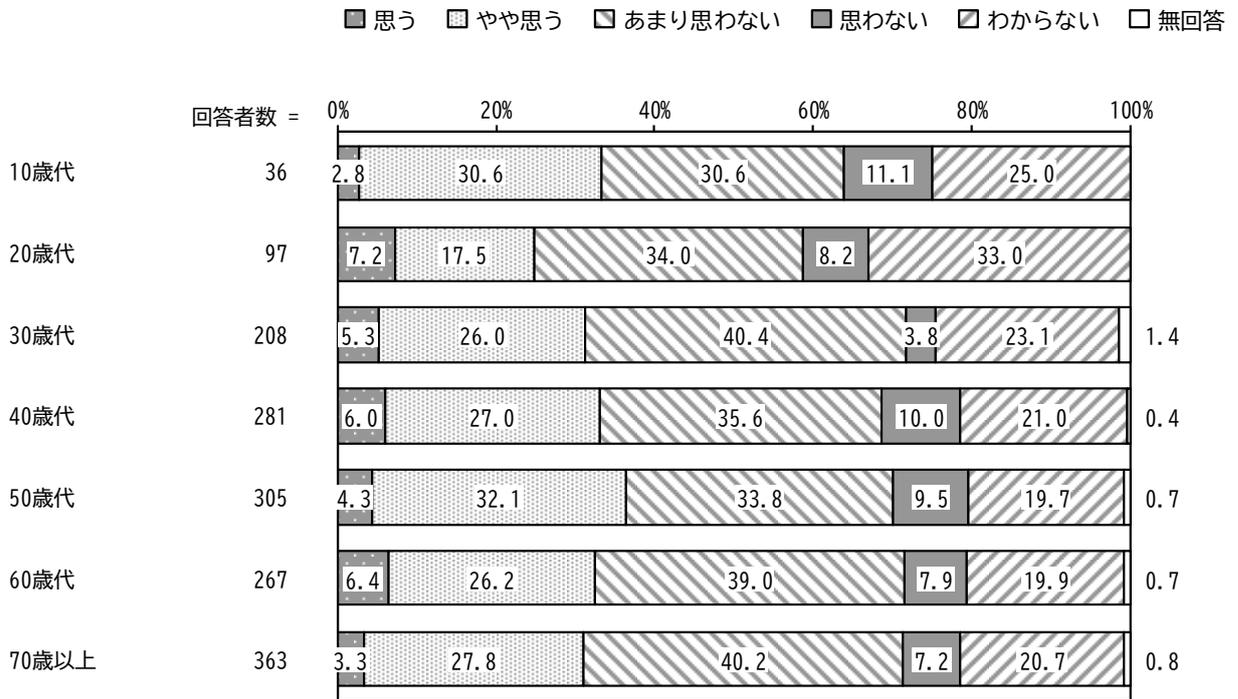
「思う」「やや思う」を合わせた“思う”の割合が32.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が45.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「あまり思わない」の割合が増加しています。一方、「思う」「わからない」の割合が減少しています。



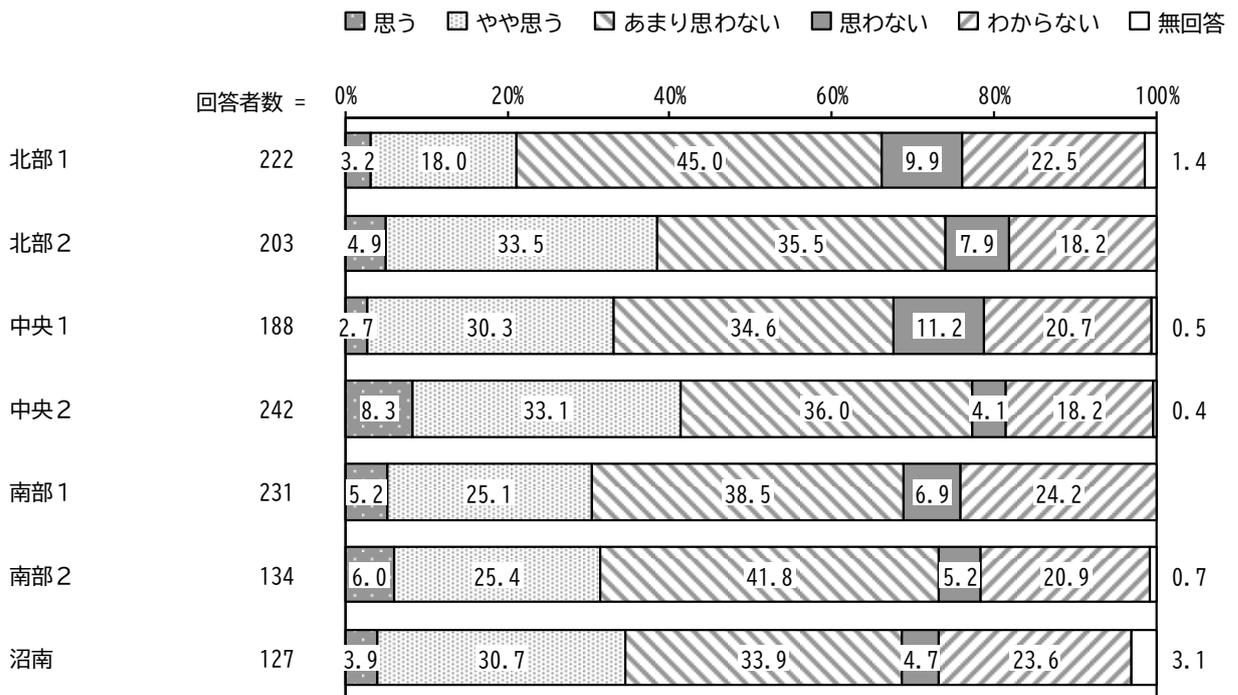
【年代別】

年代別にみると、「思う」「やや思う」を合わせた“思う”の割合について20歳代ではやや低いものの、他の年代ではいずれも30%台となっています。



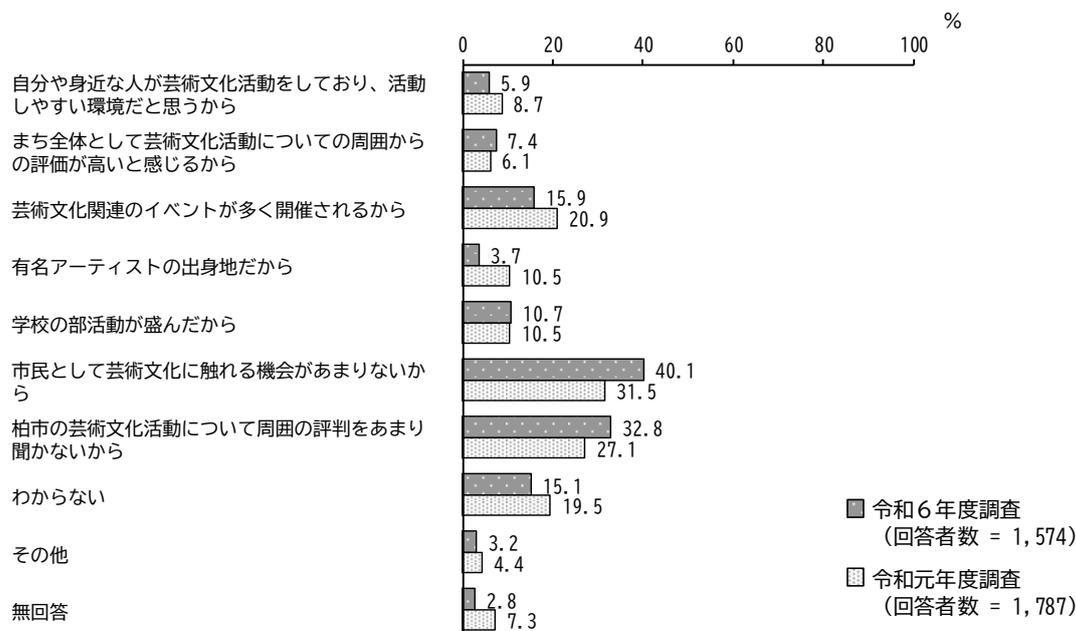
【在住地域別】

在住地域別にみると、「思う」「やや思う」を合わせた“思う”の割合について中央2と北部2で高くなっています。



問 25 問 24 で選んだ理由は何ですか。(〇は3つまで)

「市民として芸術文化に触れる機会があまりないから」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「柏市の芸術文化活動について周囲の評判をあまり聞かないから」の割合が 32.8%、「芸術文化関連のイベントが多く開催されるから」の割合が 15.9%となっています。令和元年度調査と比較すると、「市民として芸術文化に触れる機会があまりないから」「柏市の芸術文化活動について周囲の評判をあまり聞かないから」の割合が増加しています。

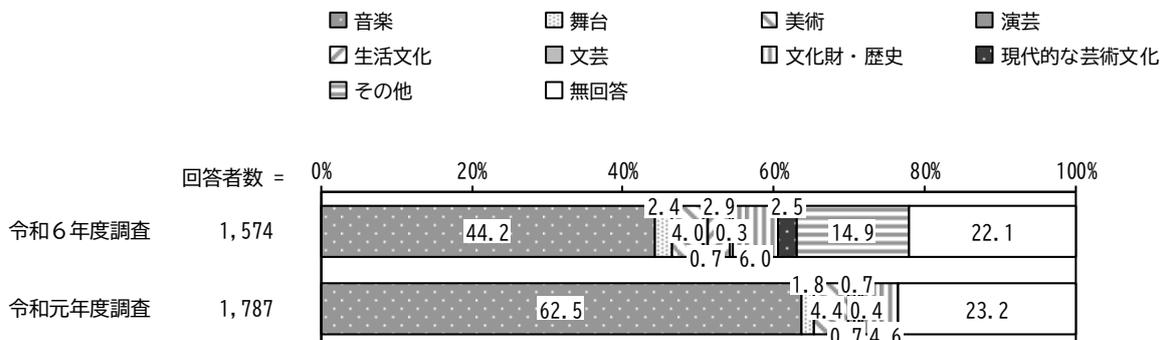


※令和元年度調査では、「有名アーティストの出身地だから」、「学校の部活動が盛んだから」の選択肢は「有名アーティストの出身地であり、学校の部活動も盛んであるから」となっていました。

問 26 あなたが柏市で盛んだと思う活動は何ですか。(〇は1つ)

「音楽」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「文化財・歴史」の割合が 6.0%、「美術」の割合が 4.0%となっています。

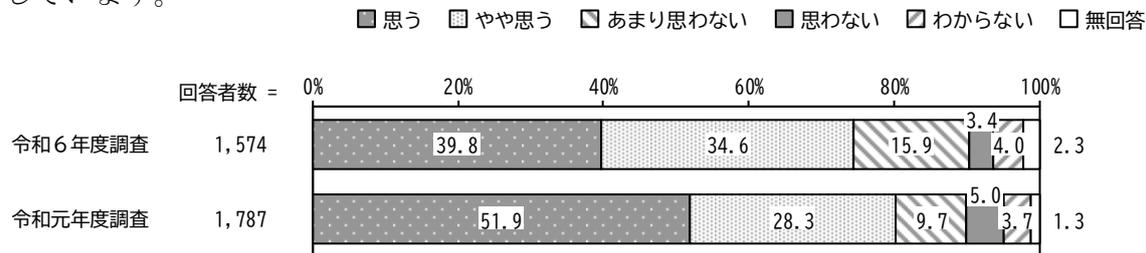
令和元年度調査と比較すると、「音楽」の割合が減少しています。



問 27 あなたは、芸術文化を鑑賞したいと思いますか。(〇は1つ)

「思う」「やや思う」を合わせた「思う」の割合が 74.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた「思わない」の割合が 19.3%となっています。

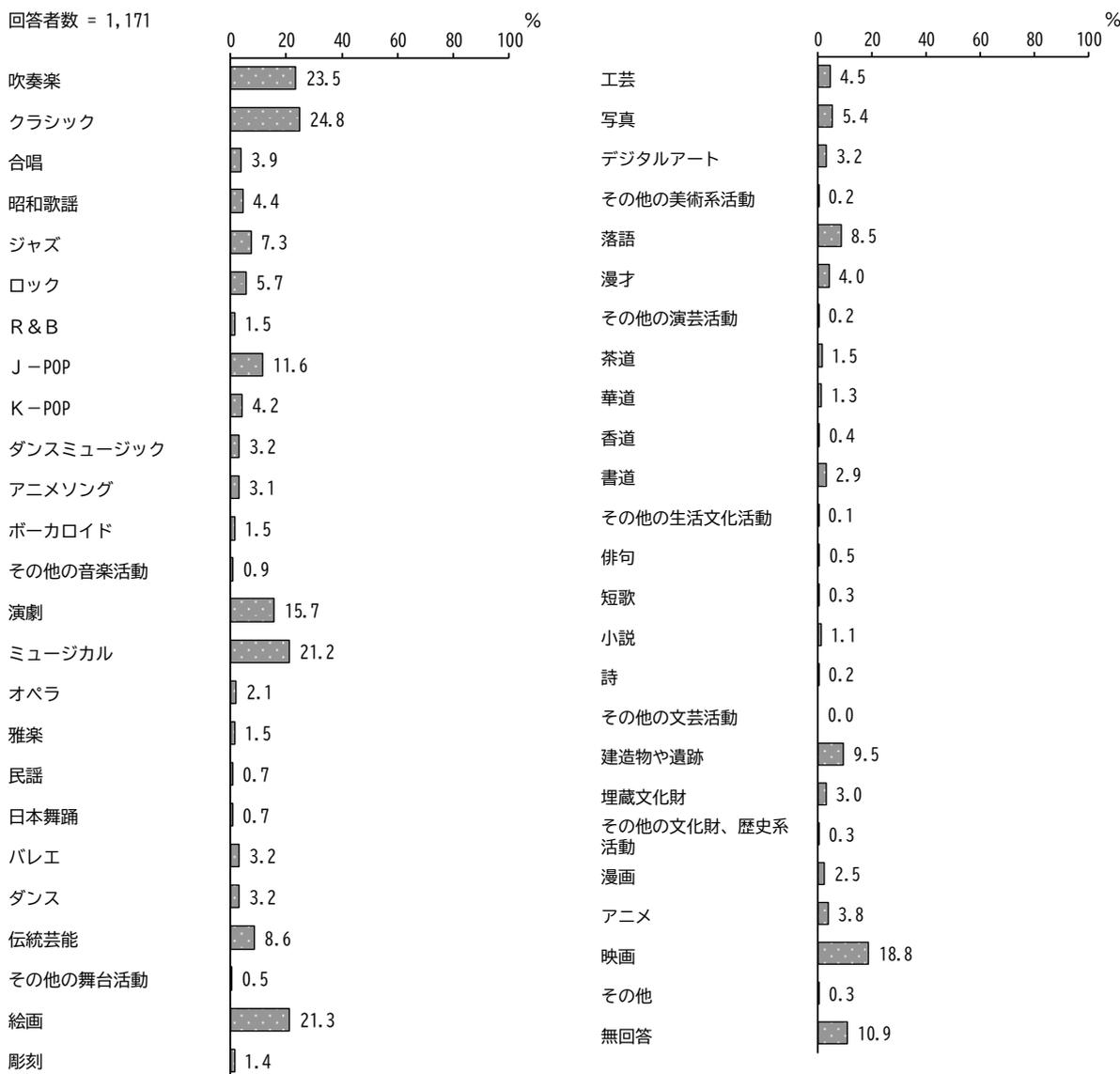
令和元年度調査と比較すると、「思う」「やや思う」を合わせた「思う」の割合が減少しています。



問 28 あなたは、今後どのような分野の芸術文化を鑑賞したいですか。

(〇は1～49のなかから3つまで)

「クラシック」の割合が 24.8%と最も高く、次いで「吹奏楽」の割合が 23.5%、「絵画」の割合が 21.3%、「ミュージカル」の割合が 21.2%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「漫画」で、10歳代から70歳以上にかけて低くなる傾向にあります。「映画」はいずれの世代でも20%程度となっています。「昭和歌謡」で、70歳以上で最も高く、次いで60歳代、10歳代となっています。

(単位：%)

区分	(回答者数)	吹奏楽	クラシック	合唱	昭和歌謡	ジャズ	ロック	R&B	PJPO	PKPO	ユダインジスミ	アニメソ	イデオカ
全体	1,171	23.5	24.8	3.9	4.4	7.3	5.7	1.5	11.6	4.2	3.2	3.1	1.5
10歳代	22	13.6	4.5	—	4.5	—	9.1	—	40.9	22.7	—	27.3	18.2
20歳代	74	10.8	20.3	5.4	—	6.8	10.8	2.7	27.0	10.8	2.7	12.2	8.1
30歳代	145	26.2	14.5	2.8	0.7	10.3	9.0	1.4	15.9	3.4	3.4	3.4	0.7
40歳代	209	28.2	22.5	4.3	2.4	6.7	8.6	2.4	12.9	4.8	7.2	5.3	1.9
50歳代	234	22.6	27.8	4.7	2.1	8.1	5.6	2.6	12.4	5.1	2.6	1.7	0.9
60歳代	217	23.5	33.2	2.3	5.1	7.8	3.7	0.9	10.6	2.8	2.3	0.5	—
70歳以上	258	24.0	25.2	5.0	10.9	6.2	1.9	—	1.9	1.2	1.2	—	—

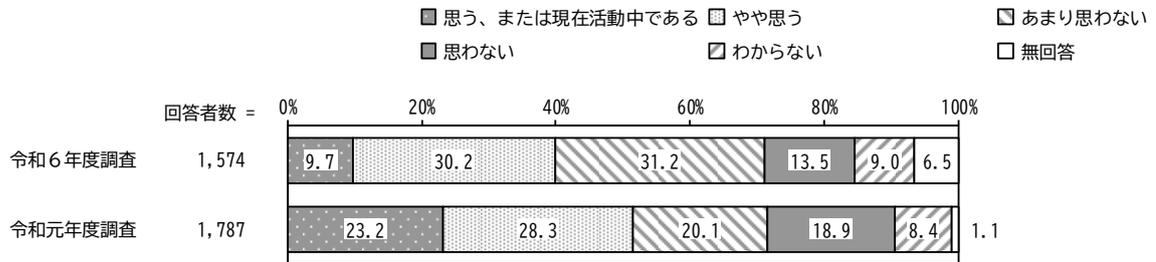
区分	音楽活動 その他の	演劇	ミュージカル	オペラ	雅楽	民謡	日本舞踊	バレエ	ダンス	伝統芸能	舞台活動 その他の	絵画	彫刻
全体	0.9	15.7	21.2	2.1	1.5	0.7	0.7	3.2	3.2	8.6	0.5	21.3	1.4
10歳代	—	—	4.5	—	—	—	—	4.5	4.5	—	4.5	13.6	4.5
20歳代	1.4	6.8	28.4	4.1	—	—	—	5.4	2.7	4.1	2.7	17.6	1.4
30歳代	0.7	14.5	32.4	1.4	0.7	0.7	1.4	4.8	7.6	6.2	—	15.2	1.4
40歳代	2.4	17.2	26.3	2.4	1.4	0.5	1.0	3.3	6.2	6.2	0.5	12.4	1.4
50歳代	—	15.8	23.1	3.8	2.1	—	0.4	3.8	1.3	9.4	0.4	21.4	1.3
60歳代	—	22.1	17.1	0.9	0.9	0.5	—	1.8	1.8	9.7	—	24.4	1.4
70歳以上	1.6	13.2	12.8	1.6	2.3	1.9	1.2	1.2	1.6	12.4	0.4	30.6	1.2

区分	工芸	写真	デジタルアート	美術系活動 その他の	落語	漫才	演芸活動 その他の	茶道	華道	香道	書道	生活文化 活動の	短歌
全体	4.5	5.4	3.2	0.2	8.5	4.0	0.2	1.5	1.3	0.4	2.9	0.1	0.3
10歳代	—	18.2	9.1	—	4.5	—	—	4.5	4.5	—	—	—	—
20歳代	2.7	5.4	5.4	—	2.7	8.1	—	4.1	—	—	2.7	—	—
30歳代	3.4	4.8	3.4	—	3.4	6.2	—	1.4	1.4	—	1.4	—	—
40歳代	4.8	5.3	5.7	—	6.2	5.3	—	1.4	1.4	1.0	3.8	—	—
50歳代	4.7	5.1	2.6	—	7.7	3.4	0.9	2.1	1.3	0.9	2.6	—	0.4
60歳代	5.5	5.1	2.3	0.5	12.4	2.8	—	0.5	1.4	—	2.8	—	0.5
70歳以上	5.0	5.4	0.8	0.4	12.0	2.3	—	0.8	1.2	0.4	3.9	0.4	0.4

区分	小説	詩	文芸活動 その他の	建造物 遺跡や	埋蔵文化	史系文化 活動の	漫画	アニメ	映画	その他	無回答
全体	1.1	0.2	—	9.5	3.0	0.3	2.5	3.8	18.8	0.3	10.9
10歳代	—	—	—	4.5	4.5	—	9.1	18.2	22.7	4.5	—
20歳代	4.1	—	—	8.1	2.7	—	8.1	6.8	16.2	—	5.4
30歳代	2.1	0.7	—	9.7	1.4	—	4.8	4.8	17.2	0.7	11.7
40歳代	1.4	—	—	9.6	4.3	0.5	3.8	4.3	17.7	—	6.2
50歳代	0.4	—	—	7.3	2.1	0.4	1.7	5.6	17.1	—	9.8
60歳代	—	—	—	11.1	3.7	0.5	0.5	1.4	19.8	0.5	12.0
70歳以上	0.8	0.4	—	11.2	3.1	0.4	—	0.8	22.1	—	16.3

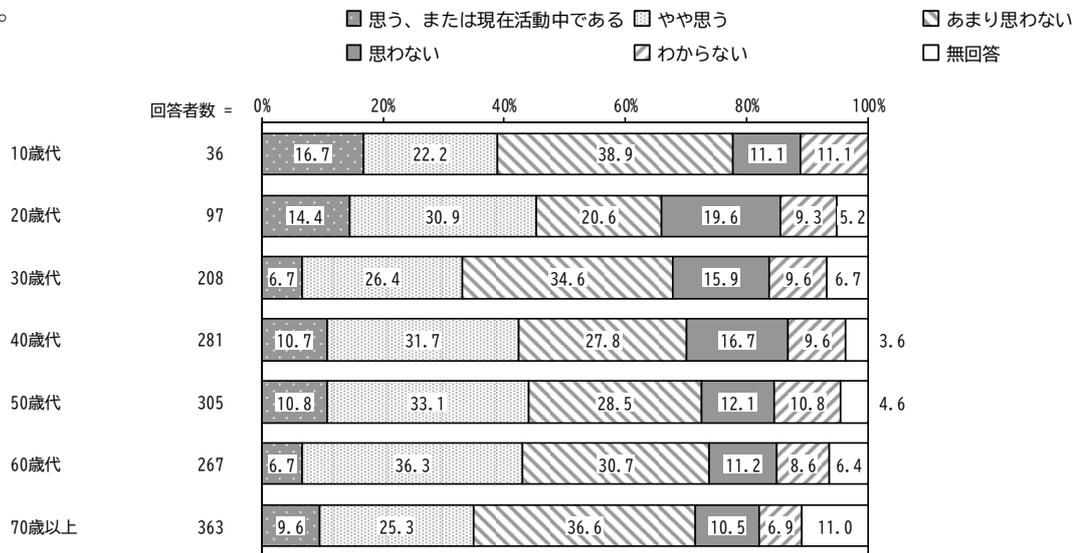
問 29 あなたは、芸術文化活動を始めたり、参加したりしたいと思いますか。(〇は1つ)

「思う、または現在活動中である」「やや思う」を合わせた“思う”の割合が 39.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が 44.7%となっています。令和元年度調査との比較においても“思う”の割合が減少しています。



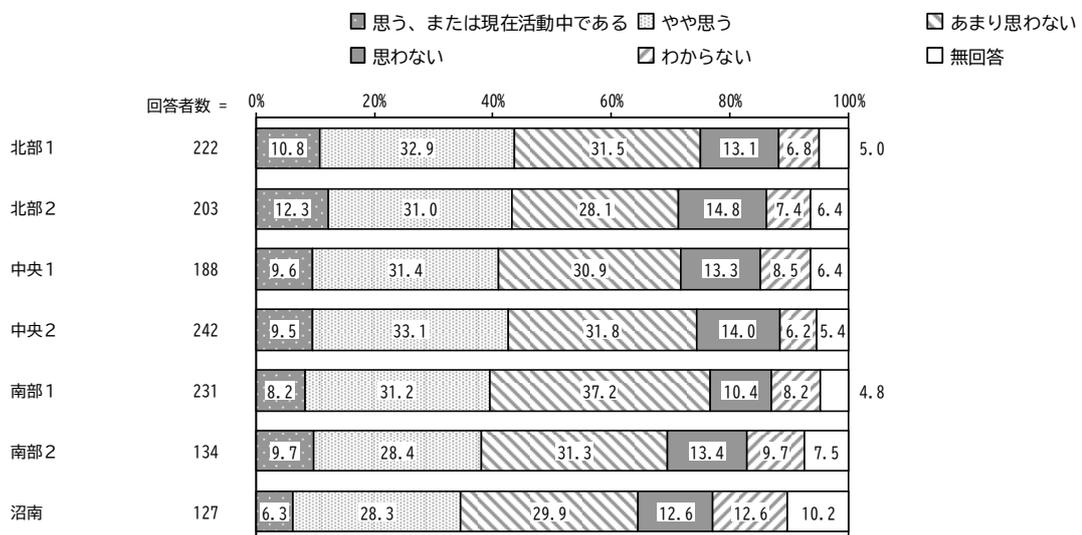
【年代別】

年代別にみると、「思わない」で、20歳代から70歳以上にかけて低くなる傾向にあります。



【在住地域別】

在住地域別にみると、「あまり思わない」について南部1で高くなっています。

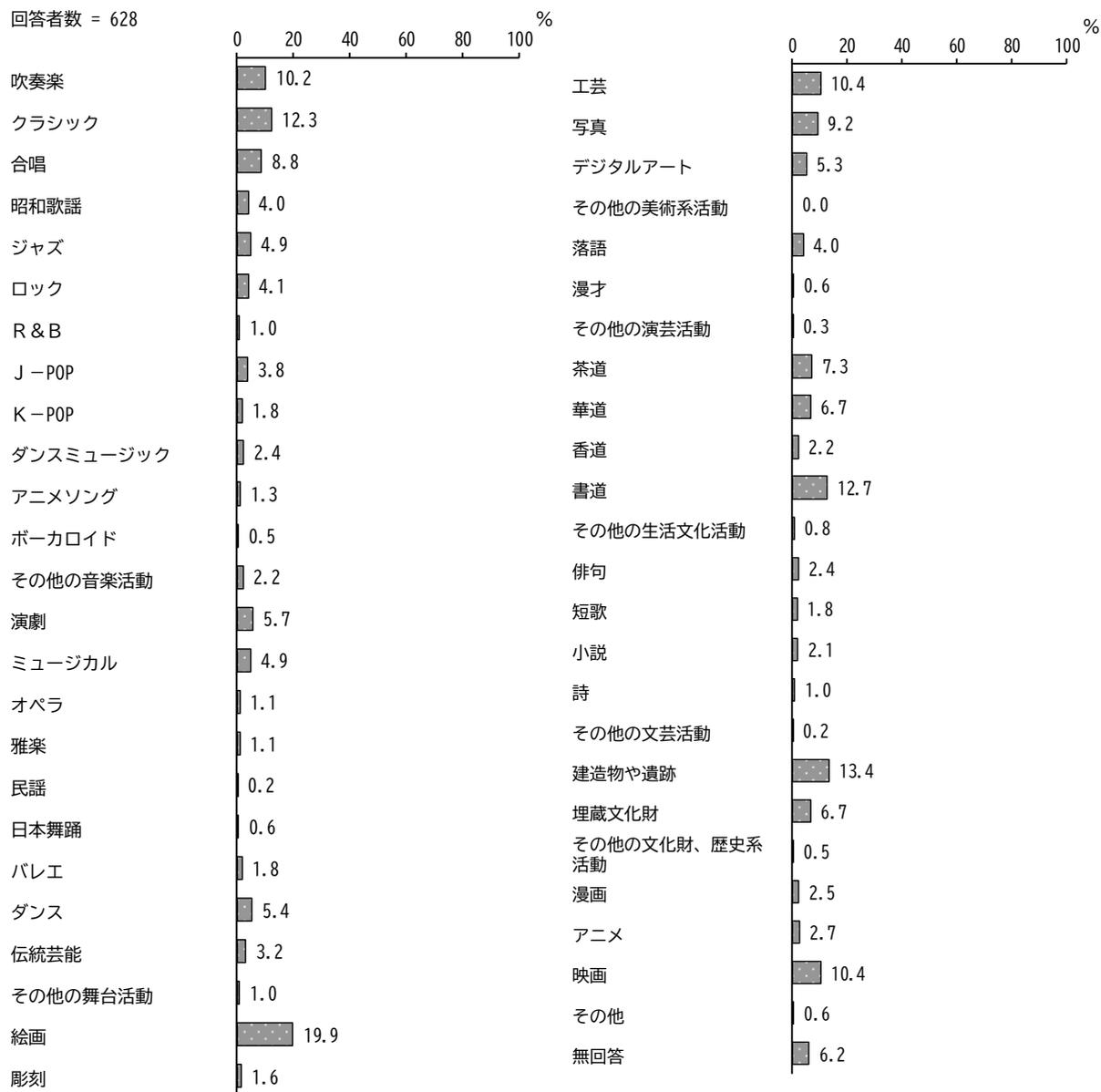


問 30 あなたは、今後どのような分野の芸術文化に参加または活動したいと思いますか。

(○は1～49のなかから3つまで)

「絵画」の割合が19.9%と最も高く、次いで「建造物や遺跡」の割合が13.4%、「書道」の割合が12.7%となっています。

回答者数 = 628



【年代別】

年代別にみると、「アニメ」で、10歳代から70歳以上にかけて低くなる傾向にあります。
(単位：%)

区分	回答者数(件)	吹奏楽	クラシック	合唱	昭和歌謡	ジャズ	ロック	R&B	J-POP	K-POP	ダンスミュージック	アニメソン	ボーカロイド
全体	628	10.2	12.3	8.8	4.0	4.9	4.1	1.0	3.8	1.8	2.4	1.3	0.5
10歳代	14	7.1	7.1	-	-	-	7.1	-	21.4	14.3	14.3	7.1	-
20歳代	44	18.2	15.9	9.1	2.3	-	4.5	-	4.5	4.5	2.3	2.3	2.3
30歳代	69	8.7	4.3	2.9	2.9	8.7	5.8	-	2.9	-	1.4	2.9	-
40歳代	119	10.9	13.4	7.6	0.8	5.9	3.4	1.7	3.4	1.7	4.2	0.8	0.8
50歳代	134	11.2	12.7	11.2	1.5	4.5	5.2	1.5	4.5	1.5	3.7	1.5	0.7
60歳代	115	7.8	14.8	7.8	6.1	6.1	5.2	1.7	5.2	2.6	0.9	0.9	-
70歳以上	127	8.7	11.8	12.6	9.4	3.9	1.6	-	0.8	-	-	-	-

区分	その他の音楽活動	演劇	ミュージカ	オペラ	雅楽	民謡	日本舞踊	バレエ	ダンス	伝統芸能	その他の舞台活動	絵画	彫刻
全体	2.2	5.7	4.9	1.1	1.1	0.2	0.6	1.8	5.4	3.2	1.0	19.9	1.6
10歳代	7.1	-	7.1	-	-	-	-	7.1	-	-	7.1	21.4	-
20歳代	2.3	2.3	4.5	-	-	-	-	4.5	6.8	-	4.5	18.2	-
30歳代	-	8.7	8.7	1.4	-	-	2.9	4.3	7.2	1.4	-	20.3	1.4
40歳代	1.7	8.4	4.2	-	0.8	-	0.8	0.8	7.6	2.5	-	16.8	2.5
50歳代	2.2	7.5	5.2	1.5	2.2	-	0.7	3.0	4.5	3.0	-	20.1	3.0
60歳代	2.6	7.0	4.3	1.7	-	-	-	-	4.3	2.6	1.7	18.3	-
70歳以上	3.1	0.8	3.9	1.6	2.4	0.8	-	-	4.7	7.1	0.8	24.4	1.6

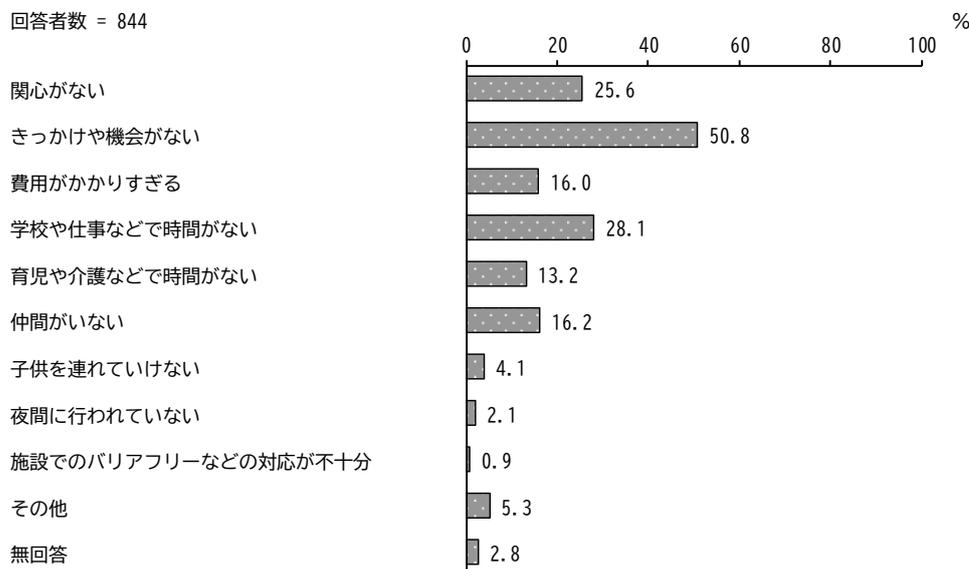
区分	工芸	写真	デジタルアート	その他の美術系活動	落語	漫才	その他の芸活動	茶道	華道	香道	書道	その他の生活文化活動	俳句
全体	10.4	9.2	5.3	-	4.0	0.6	0.3	7.3	6.7	2.2	12.7	0.8	2.4
10歳代	7.1	21.4	14.3	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-
20歳代	11.4	13.6	15.9	-	-	-	-	11.4	2.3	-	9.1	-	-
30歳代	8.7	17.4	8.7	-	2.9	-	-	1.4	7.2	4.3	11.6	-	-
40歳代	9.2	10.9	5.9	-	1.7	0.8	-	13.4	10.1	2.5	12.6	0.8	0.8
50歳代	16.4	4.5	3.0	-	5.2	0.7	0.7	5.2	5.2	3.0	9.0	-	1.5
60歳代	6.1	7.8	4.3	-	5.2	0.9	0.9	6.1	7.0	1.7	12.2	1.7	2.6
70歳以上	9.4	6.3	0.8	-	6.3	0.8	-	5.5	7.1	1.6	20.5	1.6	6.3

区分	短歌	小説	詩	その他の芸活動	建造物や遺跡	埋蔵文化財	その他の文化活動、歴史系	漫画	アニメ	映画	その他	無回答
全体	1.8	2.1	1.0	0.2	13.4	6.7	0.5	2.5	2.7	10.4	0.6	6.2
10歳代	-	7.1	-	-	-	-	-	7.1	14.3	-	-	-
20歳代	-	6.8	-	-	6.8	2.3	-	2.3	6.8	13.6	-	2.3
30歳代	-	4.3	2.9	-	10.1	2.9	-	5.8	5.8	7.2	1.4	8.7
40歳代	0.8	1.7	1.7	-	14.3	7.6	0.8	5.9	3.4	8.4	-	0.8
50歳代	3.0	1.5	-	-	11.2	4.5	0.7	0.7	3.0	9.7	1.5	5.2
60歳代	1.7	0.9	0.9	-	14.8	13.0	-	0.9	-	17.4	-	7.8
70歳以上	3.1	-	0.8	0.8	19.7	7.1	0.8	-	-	8.7	0.8	10.2

問 31 あなたが芸術文化活動を始めたり、参加したいと思わない理由は何ですか。

(〇は3つまで)

「きっかけや機会がない」の割合が50.8%と最も高く、次いで「学校や仕事などで時間がない」の割合が28.1%、「関心がない」の割合が25.6%となっています。



【年代別】

全世代で「きっかけや機会がない」が高くなっています。

年代別にみると、「関心がない」は、10歳代から70歳以上にかけて低くなる傾向にあります。また、30歳代、40歳代で「育児や介護などで時間がない」「子供を連れていけない」が他の年代と比べて高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(件)	関心がない	きっかけや機会がない	費用がかかりすぎる	学校や仕事などで時間がない	育児や介護などで時間がない	仲間がない	子供を連れていけない	夜間に行われていない	施設でのバリアフリーなどの対応が不十分	その他	無回答
全体	844	25.6	50.8	16.0	28.1	13.2	16.2	4.1	2.1	0.9	5.3	2.8
10歳代	22	50.0	45.5	13.6	36.4	—	13.6	—	4.5	—	4.5	—
20歳代	48	50.0	45.8	14.6	35.4	4.2	10.4	—	2.1	—	2.1	—
30歳代	125	35.2	38.4	15.2	32.0	32.8	12.8	15.2	0.8	—	0.8	0.8
40歳代	152	21.7	44.1	15.8	42.8	21.7	11.2	9.2	2.0	—	3.9	0.7
50歳代	157	23.6	52.2	16.6	42.0	7.6	17.2	1.3	5.7	1.3	2.5	1.9
60歳代	135	19.3	59.3	17.8	16.3	12.6	21.5	—	0.7	0.7	7.4	2.2
70歳以上	196	19.4	59.2	14.8	8.7	3.1	20.4	—	1.0	2.6	11.2	7.7

【在住地域別】

在住地域別にみると、「関心がない」について北部1で高く、「学校や仕事などで時間がない」について中央1、南部2で高く、「仲間がいない」について沼南で低くなっています。

(単位：%)

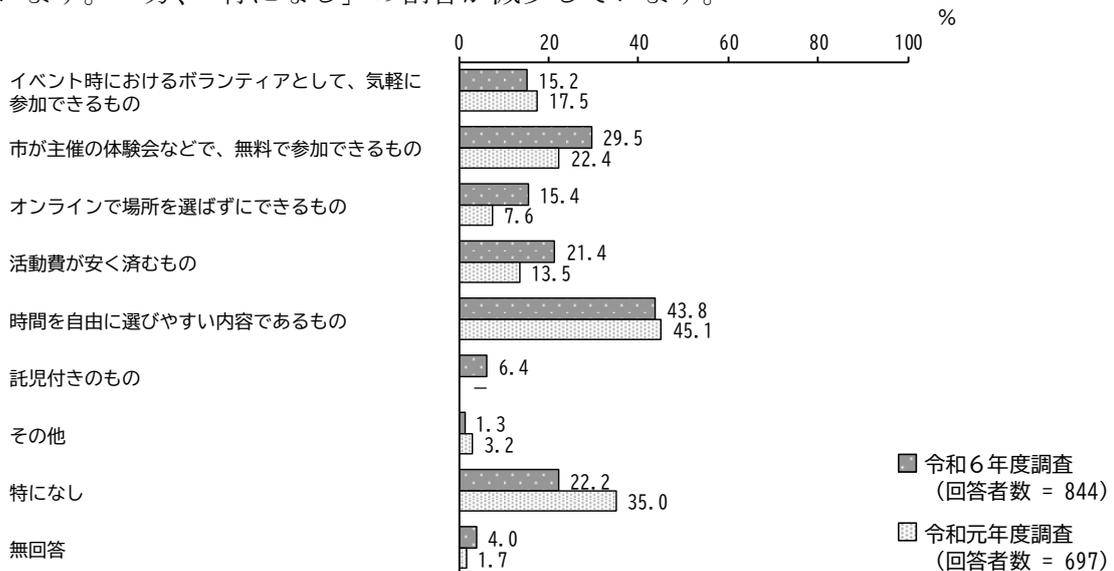
区分	回答者数(件)	関心がない	いきつけや機会がない	費用がかかりすぎる	学校や仕事などで時間がない	育児や介護などで時間がない	仲間がいない	子供を連れていけない	夜間に行われていない	施設などの対応が不十分	その他	無回答
全体	844	25.6	50.8	16.0	28.1	13.2	16.2	4.1	2.1	0.9	5.3	2.8
北部1	114	30.7	44.7	12.3	27.2	16.7	19.3	6.1	1.8	—	6.1	3.5
北部2	102	22.5	52.0	15.7	27.5	9.8	15.7	5.9	—	1.0	5.9	3.9
中央1	99	23.2	58.6	16.2	35.4	18.2	21.2	3.0	4.0	—	1.0	—
中央2	126	24.6	48.4	19.8	24.6	15.9	18.3	6.3	—	0.8	5.6	1.6
南部1	129	25.6	48.1	12.4	32.6	14.0	17.1	4.7	3.9	3.1	3.1	2.3
南部2	73	27.4	52.1	13.7	34.2	11.0	17.8	2.7	4.1	—	5.5	2.7
沼南	70	27.1	47.1	22.9	28.6	15.7	10.0	1.4	1.4	—	5.7	1.4

問 32 あなたは、どのような形態であれば芸術文化活動に関わりたいと思いますか。

(○は3つまで)

「時間を自由に選びやすい内容であるもの」の割合が43.8%と最も高く、次いで「市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの」の割合が29.5%、「特になし」の割合が22.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの」「オンラインで場所を選ばずにできるもの」「活動費が安く済むもの」の割合が増加しています。一方、「特になし」の割合が減少しています。



※令和元年度調査では「託児付きのもの」はありませんでした。

【年代別】

年代別にみると、「活動費が安く済むもの」で、20歳代から70歳以上にかけて低くなる傾向にあります。10歳代、20歳代の若年層で「オンラインで場所を選ばずにできるもの」が高く、30歳代とその前後で「託児付きのもの」が高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(件)	イベント時における気軽に参加できるもの	市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの	オンラインで場所を選ばずにできるもの	活動費が安く済むもの	時間を自由に選びやすい内容であるもの	託児付きのもの	その他	特になし	無回答
全体	844	15.2	29.5	15.4	21.4	43.8	6.4	1.3	22.2	4.0
10歳代	22	22.7	22.7	22.7	13.6	63.6	—	—	22.7	—
20歳代	48	14.6	16.7	31.3	27.1	41.7	10.4	—	20.8	—
30歳代	125	10.4	35.2	15.2	25.6	48.8	28.0	3.2	16.0	1.6
40歳代	152	13.8	28.3	19.7	25.0	46.7	7.9	3.3	19.7	2.0
50歳代	157	13.4	26.8	15.9	21.0	51.0	1.3	0.6	19.1	1.9
60歳代	135	20.7	34.1	14.8	21.5	45.2	—	0.7	20.0	5.9
70歳以上	196	15.8	29.1	8.2	16.3	32.1	—	—	31.6	8.7

【在住地域別】

在住地域別にみると、「市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの」について北部1で高く、「オンラインで場所を選ばずにできるもの」について中央2で高く、「活動費が安く済むもの」について中央1で高く、「時間を自由に選びやすい内容であるもの」について中央1で高く、北部2で低くなっています。

(単位：%)

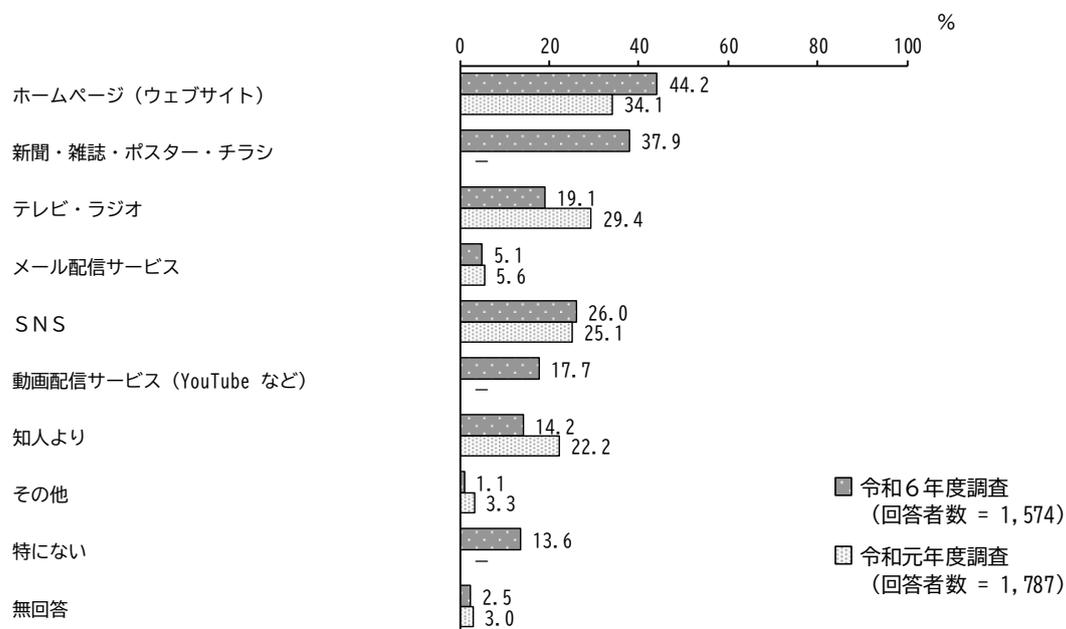
区分	回答者数(件)	イベント時における気軽に参加できるもの	市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの	オンラインで場所を選ばずにできるもの	活動費が安く済むもの	時間を自由に選びやすい内容であるもの	託児付きのもの	その他	特になし	無回答
全体	844	15.2	29.5	15.4	21.4	43.8	6.4	1.3	22.2	4.0
北部1	114	15.8	36.0	13.2	21.9	50.0	8.8	2.6	18.4	4.4
北部2	102	16.7	29.4	13.7	18.6	35.3	4.9	1.0	28.4	3.9
中央1	99	18.2	24.2	20.2	27.3	52.5	8.1	2.0	15.2	2.0
中央2	126	14.3	34.9	22.2	24.6	38.9	7.1	0.8	19.0	2.4
南部1	129	10.9	31.0	11.6	19.4	43.4	7.8	1.6	25.6	4.7
南部2	73	17.8	27.4	12.3	23.3	45.2	2.7	1.4	19.2	8.2
沼南	70	12.9	24.3	15.7	21.4	37.1	4.3	—	27.1	4.3

問 33 あなたは、芸術文化関連の情報を主にどのような方法で得ていますか。

(○は3つまで)

「ホームページ (ウェブサイト)」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「新聞・雑誌・ポスター・チラシ」の割合が 37.9%、「SNS」の割合が 26.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ホームページ (ウェブサイト)」の割合が増加しています。一方、「テレビ・ラジオ」「知人より」の割合が減少しています。



※令和元年度調査では「新聞・雑誌・ポスター・チラシ」の選択肢が分かれていたため比較できません。また、「動画配信サービス (YouTube など)」、「特になし」はありませんでした。

【年代別】

年代別にみると、「新聞・雑誌・ポスター・チラシ」で、10歳代から70歳以上にかけて高くなる傾向にあります。また、10代から30代で「SNS」「動画配信サービス (YouTube など)」が高くなっていますが、「メール配信サービス」は低くなっています。

(単位：%)

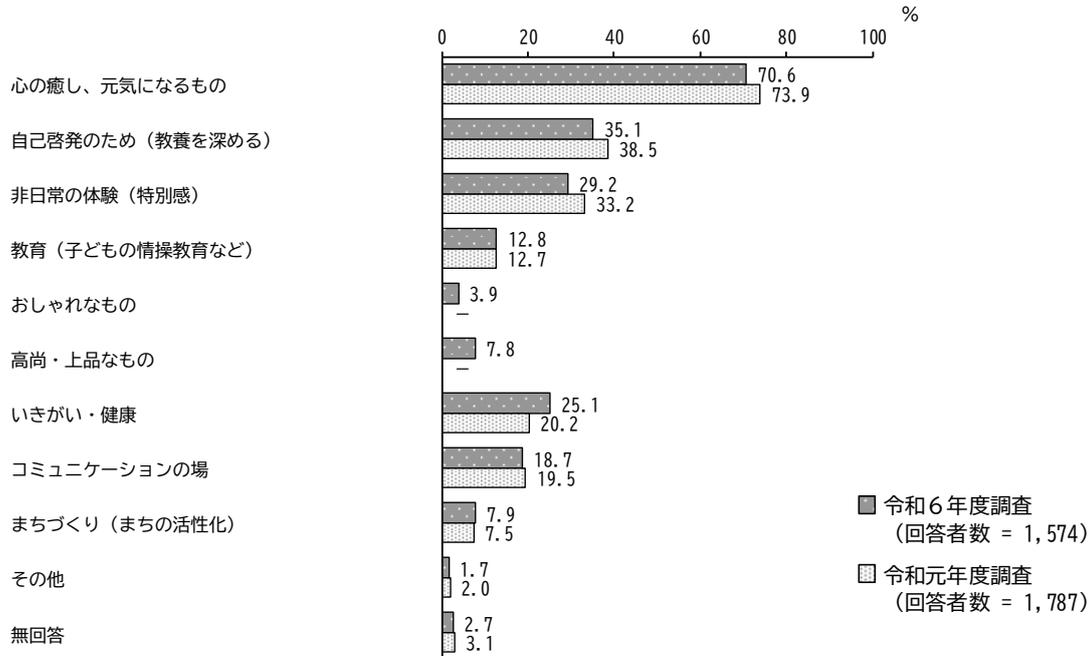
区分	回答者数 (件)	ホームページ (ウェブサイト)	新聞・雑誌・ポスター・チラシ	テレビ・ラジオ	メール配信サービス	SNS	動画配信サービス (YouTube など)	知人より	その他	特になし	無回答
全体	1,574	44.2	37.9	19.1	5.1	26.0	17.7	14.2	1.1	13.6	2.5
10歳代	36	25.0	8.3	8.3	-	47.2	30.6	13.9	2.8	27.8	-
20歳代	97	36.1	13.4	6.2	1.0	56.7	37.1	16.5	-	18.6	1.0
30歳代	208	45.7	18.8	12.5	1.9	45.2	27.9	6.3	1.4	18.3	3.4
40歳代	281	56.6	26.7	11.7	4.6	33.8	19.6	13.2	1.4	10.7	1.4
50歳代	305	56.4	30.2	12.5	7.2	26.2	15.1	10.5	-	14.4	2.3
60歳代	267	47.6	50.2	25.1	7.5	16.1	14.2	13.5	1.1	12.4	2.2
70歳以上	363	25.6	64.5	34.2	5.8	6.1	8.8	23.1	1.7	10.7	3.3

問 34 あなたは「芸術文化」についてどのようなイメージを持っていますか。

(〇はいくつでも)

「心の癒し、元気になるもの」の割合が70.6%と最も高く、次いで「自己啓発のため（教養を深める）」の割合が35.1%、「非日常の体験（特別感）」の割合が29.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和元年度調査では「おしゃれなもの」、「高尚・上品なもの」はありませんでした。

【年代別】

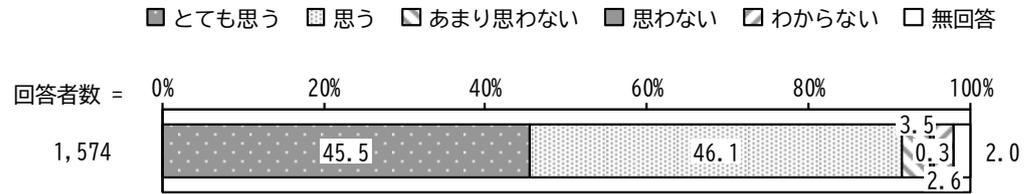
年代別にみると、「心の癒し、元気になるもの」で、10歳代から60歳代にかけて高くなる傾向にあります。20歳代で「非日常の体験（特別感）」が高くなっています。また、40歳代以上で「自己啓発のため（教養を深める）」が高くなる傾向にあります。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	心の癒し、元気になるもの	自己啓発のため（教養を深める）	非日常の体験（特別感）	教育（子どもの情操教育など）	おしゃれなもの	高尚・上品なもの	いきがい・健康	コミュニケーションの場	まちづくり（まちの活性化）	その他	無回答
全体	1,574	70.6	35.1	29.2	12.8	3.9	7.8	25.1	18.7	7.9	1.7	2.7
10歳代	36	58.3	25.0	19.4	22.2	5.6	5.6	13.9	19.4	8.3	5.6	-
20歳代	97	60.8	29.9	41.2	15.5	12.4	14.4	25.8	14.4	8.2	2.1	1.0
30歳代	208	67.3	28.8	32.7	26.0	8.2	11.1	21.6	14.9	6.7	1.4	2.9
40歳代	281	67.6	37.4	33.5	18.9	4.3	6.8	19.9	16.4	5.7	2.5	1.8
50歳代	305	70.2	34.8	28.5	9.8	2.6	5.2	27.2	20.3	9.2	1.6	3.9
60歳代	267	80.5	38.6	31.1	4.9	1.5	6.0	20.6	18.4	7.9	1.1	2.6
70歳以上	363	72.2	37.2	21.2	7.7	1.9	8.3	33.6	23.4	9.1	1.1	2.8

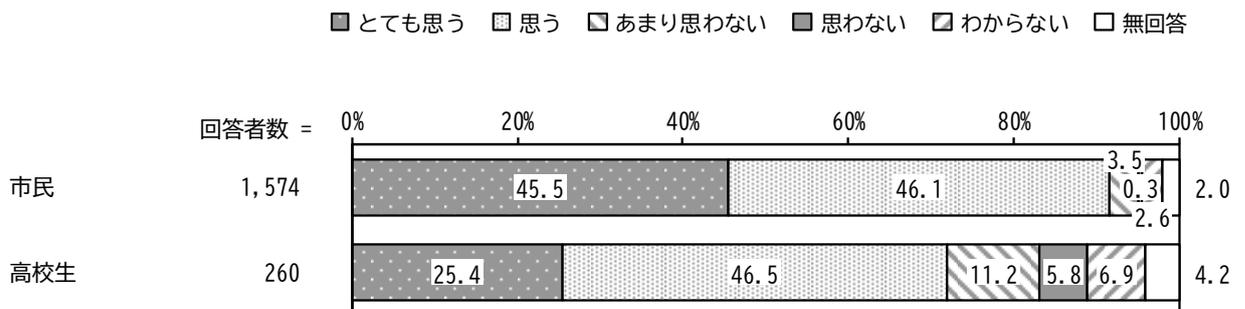
問 35 あなたは、次世代を担う子どもたちにとって芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思いますか。(〇は1つ)

「とても思う」「思う」を合わせた”思う”の割合が91.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた”思わない”の割合が3.8%となっています。



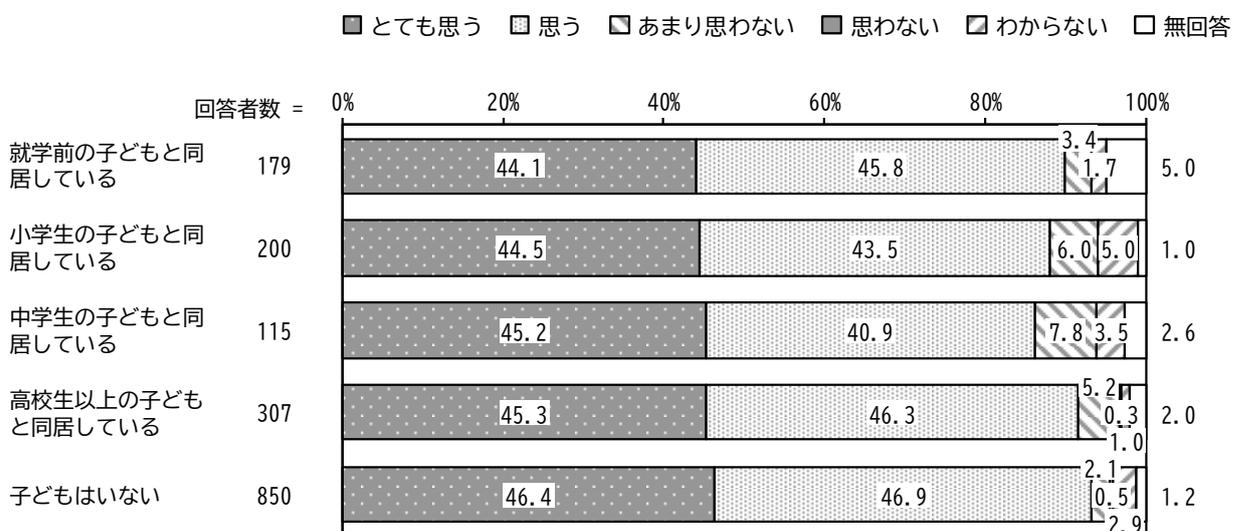
【高校生との比較】

高校生との比較では、「とても思う」「思う」を合わせた“そう思う”で市民の方が高くなっています。



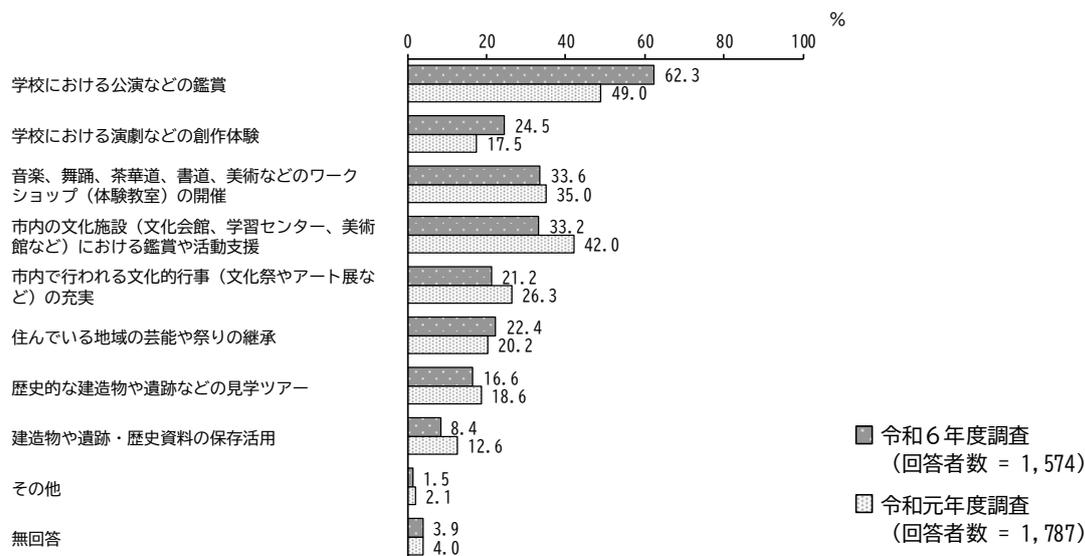
【子どもの有無別】

子どもの有無別では、大きな差はみられません。



問 36 あなたは、次世代に芸術文化を伝えていくために、柏市はどのような取組をすることが大切だと思いますか。(〇は3つまで)

「学校における公演などの鑑賞」の割合が62.3%と最も高く、次いで「音楽、舞踊、茶華道、書道、美術などのワークショップ(体験教室)の開催」の割合が33.6%、「市内の文化施設(文化会館、学習センター、美術館など)における鑑賞や活動支援」の割合が33.2%となっています。令和元年度調査と比較すると、「学校における公演などの鑑賞」「学校における演劇などの創作体験」の割合が増加しています。一方、「市内の文化施設(文化会館、学習センター、美術館など)における鑑賞や活動支援」「市内で行われる文化的行事(文化祭やアート展など)の充実」の割合が減少しています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「市内の文化施設(文化会館、学習センター、美術館など)における鑑賞や活動支援」について中学生の子どもと同居している方で低く、「市内で行われる文化的行事(文化祭やアート展など)の充実」について高校生以上の子どもと同居している方で低く、「歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアー」について就学前の子どもと同居している、小学生の子どもと同居している方で低くなっています。

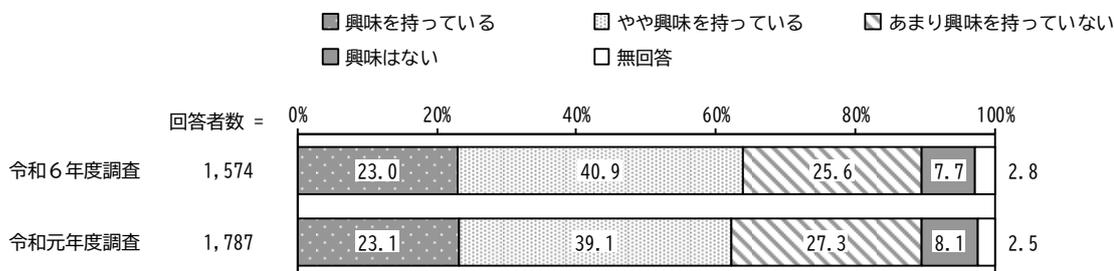
(単位：%)

区分	回答者数(件)	学校における公演などの鑑賞	学校における演劇などの創作体験	音楽、舞踊、茶華道、書道、美術などのワークショップ(体験教室)の開催	市内の文化施設(文化会館、学習センター、美術館など)における鑑賞や活動支援	市内で行われる文化的行事(文化祭やアート展など)の充実	住んでいる地域の芸能や祭りの継承	歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアー	建造物や遺跡・歴史資料の保存活用
全体	1,574	62.3	24.5	33.6	33.2	21.2	22.4	16.6	8.4
就学前の子どもと同居している	179	74.3	37.4	33.0	23.5	16.8	19.0	10.6	3.4
小学生の子どもと同居している	200	74.0	37.5	31.0	23.0	21.0	18.0	12.5	7.5
中学生の子どもと同居している	115	70.4	28.7	32.2	20.9	24.3	18.3	15.7	6.1
高校生以上の子どもと同居している	307	70.4	25.4	32.6	26.4	16.3	22.1	16.3	7.5
子どもはいない	850	56.0	20.6	35.1	39.2	22.8	23.4	18.8	9.4

問 37 あなたは、歴史という分野についてどれくらい興味を持っていますか。(〇は1つ)

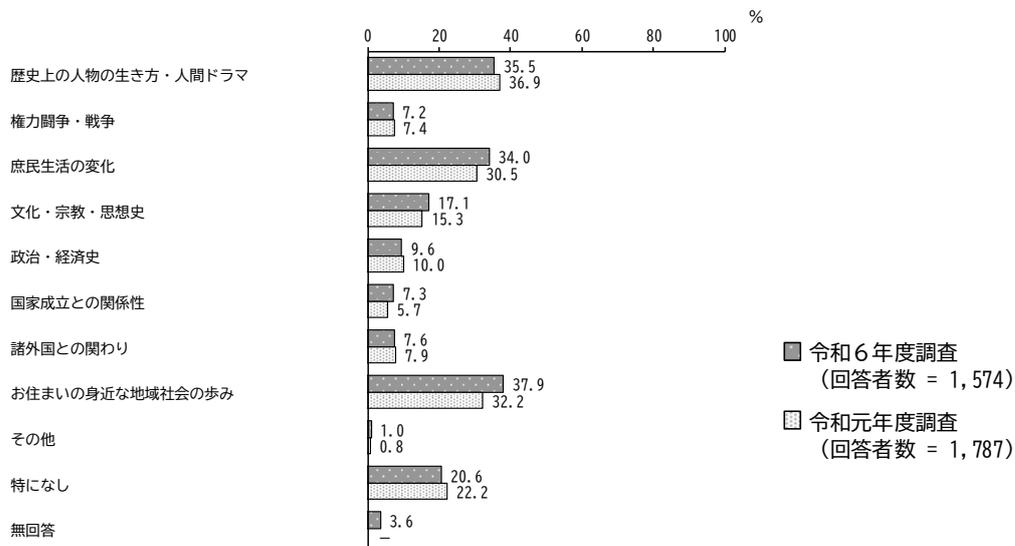
「興味を持っている」「やや興味を持っている」を合わせた”興味を持っている”の割合が63.9%、「あまり興味を持っていない」「興味はない」を合わせた”興味はない”の割合が33.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 38 あなたは、柏の歴史のどのようなテーマに興味がありますか。(〇はいくつでも)

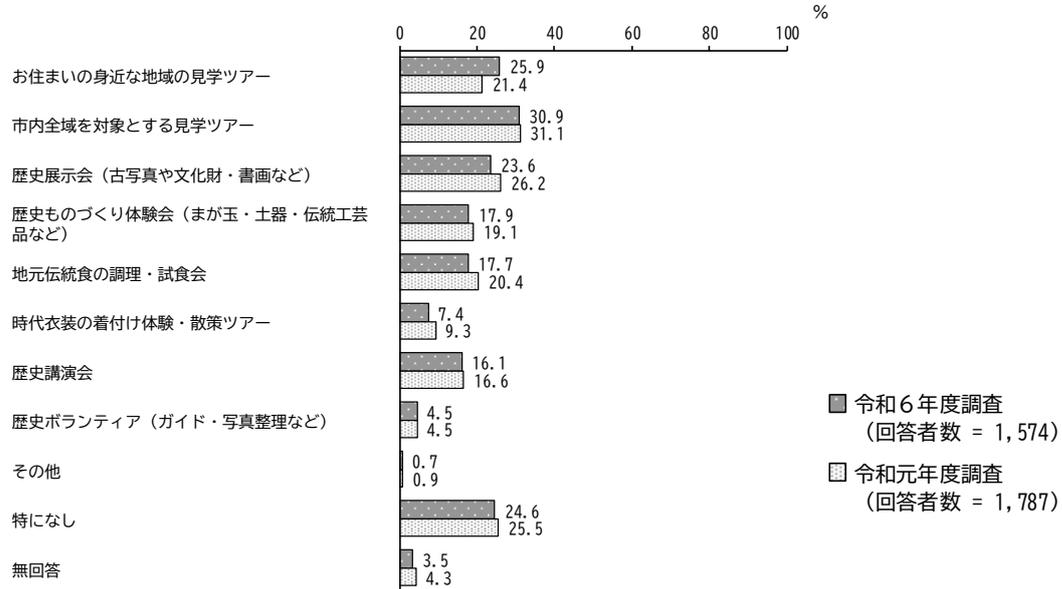
「お住まいの身近な地域社会の歩み」の割合が37.9%と最も高く、次いで「歴史上の人物の生き方・人間ドラマ」の割合が35.5%、「庶民生活の変化」の割合が34.0%となっています。令和元年度調査と比較すると、「お住まいの身近な地域社会の歩み」の割合が増加しています。



※令和元年度調査では「無回答」はありませんでした。

問 39 あなたは、歴史・文化財系のイベントとして、どのようなものに参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「市内全域を対象とする見学ツアー」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「お住まいの身近な地域の見学ツアー」の割合が 25.9%、「特になし」の割合が 24.6%となっています。令和元年度調査との比較でも、大きな変化はみられません。

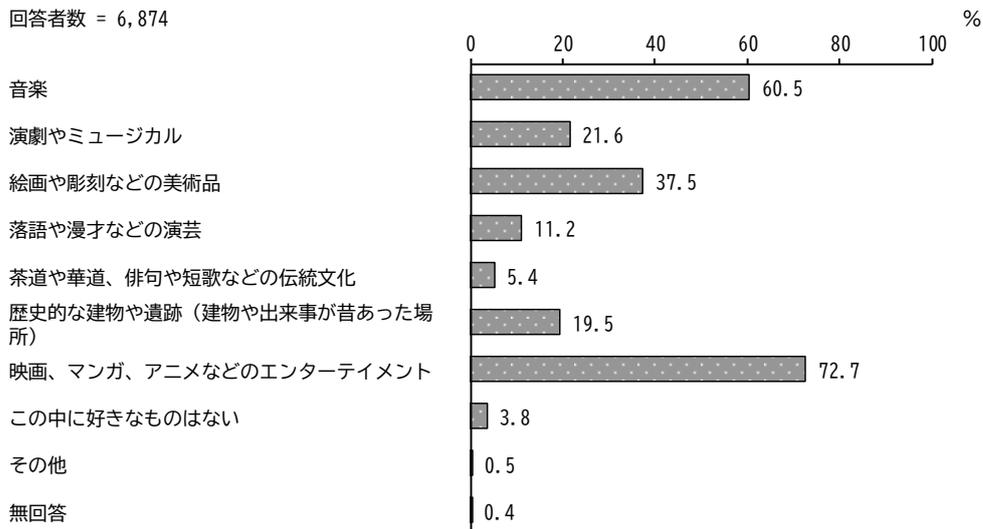


2 小中学生

問 15 あなたは、次のなかではどんなものが好きですか。(〇は3つまで)

「映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメント」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「音楽」の割合が 60.5%、「絵画や彫刻などの美術品」の割合が 37.5%となっています。

回答者数 = 6,874



※小学2年生、小学5年生では「その他」はありませんでした。

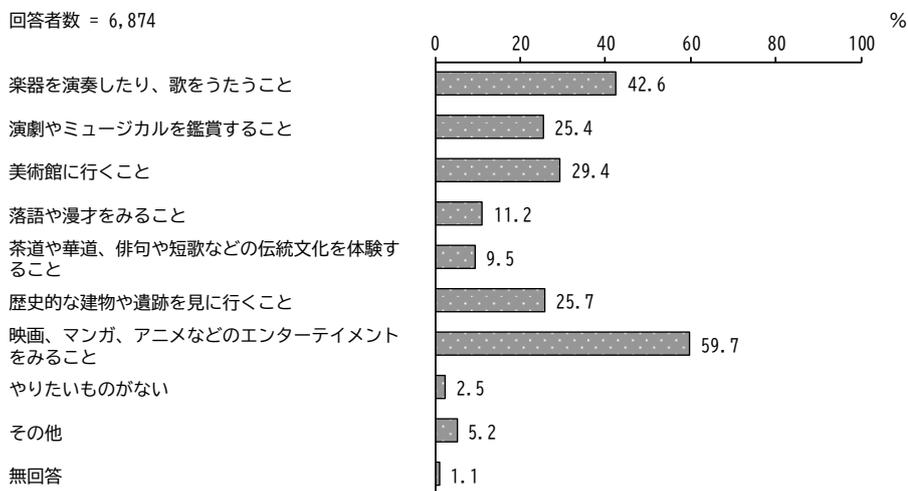
【学年別】

学年別にみると、「音楽」「落語や漫才などの演芸」「映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメント」では学年が上がるにつれ高くなる傾向があります。一方で、「演劇やミュージカル」「絵画や彫刻などの美術品」では学年が上がるにつれ低くなる傾向があります。(単位：%)

区分	回答者数(件)	音楽	演劇やミュージカル	絵画や彫刻などの美術品	落語や漫才などの演芸	茶道や華道、俳句や短歌などの伝統文化	歴史的な建物や遺跡(建物や出来事が昔あった場所)	映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメント	この中に好きなものはない	その他	無回答
全体	6,874	60.5	21.6	37.5	11.2	5.4	19.5	72.7	3.8	0.5	0.4
小学2年生	2,499	54.9	32.9	58.3	9.3	4.0	15.5	58.0	4.2	—	0.7
小学5年生	2,543	58.0	16.8	32.0	11.2	7.4	22.6	80.1	4.1	—	0.3
中学生	1,832	71.5	12.8	16.8	13.8	4.8	20.6	82.5	2.8	2.0	0.2

問16 あなたは、次のなかでやってみたいことはどんなことですか。(〇は3つまで)

「映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメントをみること」の割合が59.7%と最も高く、次いで「楽器を演奏したり、歌をうたうこと」の割合が42.6%、「美術館に行くこと」の割合が29.4%となっています。



※小学2年生、小学5年生では「やりたいものがない」はありませんでした。

【学年別】

学年別にみると、「楽器を演奏したり、歌をうたうこと」「演劇やミュージカルを鑑賞すること」「美術館に行くこと」で小学2年生が高くなっています。また、「映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメントをみること」で小学5年生、中学生が高くなっています。

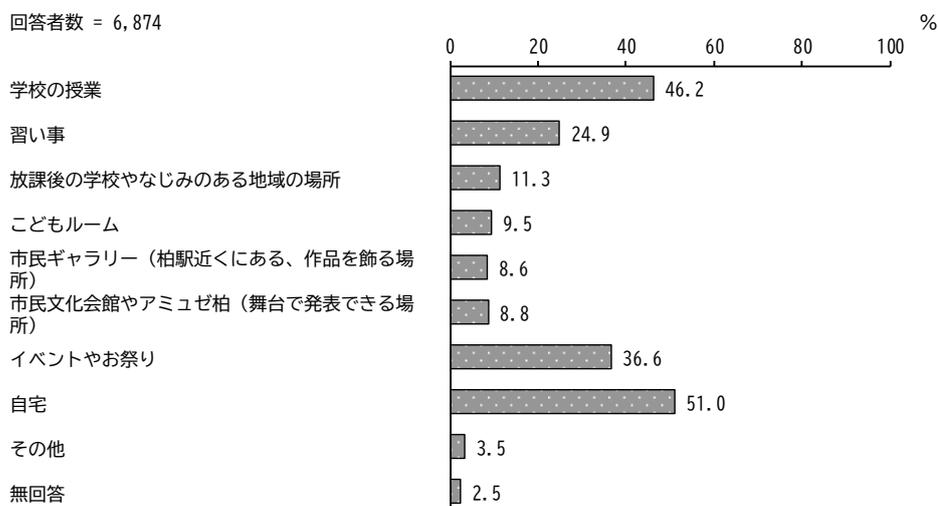
(単位：%)

区分	回答者数(件)	楽器を演奏したり、歌をうたうこと	演劇やミュージカルを鑑賞すること	美術館に行くこと	落語や漫才をみること	茶道や華道、俳句や短歌などの伝統文化を体験すること	歴史的な建物や遺跡を見に行くこと	映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメントをみること	やりたいものがない	その他	無回答
全体	6,874	42.6	25.4	29.4	11.2	9.5	25.7	59.7	2.5	5.2	1.1
小学2年生	2,499	49.9	34.9	39.9	10.6	7.4	28.4	45.8	—	5.3	1.4
小学5年生	2,543	38.0	22.3	28.4	11.6	11.3	22.8	67.6	—	7.0	1.4
中学生	1,832	39.1	16.9	16.5	11.3	9.9	26.1	67.7	9.6	2.7	0.3

問 17 あなたは、上の質問で答えたやってみみたいことをどんな場所でやってみたいですか。(〇は3つまで)

「映画「自宅」」の割合が51.0%と最も高く、次いで「学校の授業」の割合が46.2%、「イベントやお祭り」の割合が36.6%となっています。

回答者数 = 6,874



※中学生では「こどもルーム」はありませんでした。

【学年別】

学年別にみると、「習い事」「こどもルーム」「市民ギャラリー（柏駅近くにある、作品を飾る場所）」で学年が上がるにつれ、低くなる傾向があります。「放課後の学校やなじみのある地域の場所」で中学生が高くなっています。

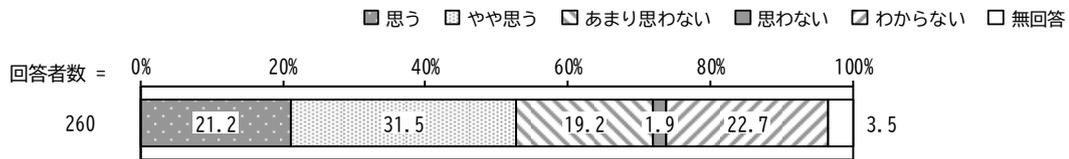
(単位：%)

区分	回答者数 (件)	学校の授業	習い事	放課後の学校や なじみのある地域の場所	こどもルーム	市民ギャラリー（柏駅近く にある、作品を飾る場所）	市民文化会館やアミューゼ 柏（舞台上で発表できる場 所）	イベントやお祭り	自宅	その他	無回答
全 体	6,874	46.2	24.9	11.3	9.5	8.6	8.8	36.6	51.0	3.5	2.5
小学2年生	2,499	46.5	34.2	9.7	21.2	13.6	11.7	35.5	43.0	2.4	1.6
小学5年生	2,543	48.3	24.3	7.4	4.8	6.7	6.6	39.7	57.1	4.2	1.9
中学生	1,832	42.9	13.0	18.8	—	4.5	7.6	34.1	53.3	4.1	4.4

3 高校生

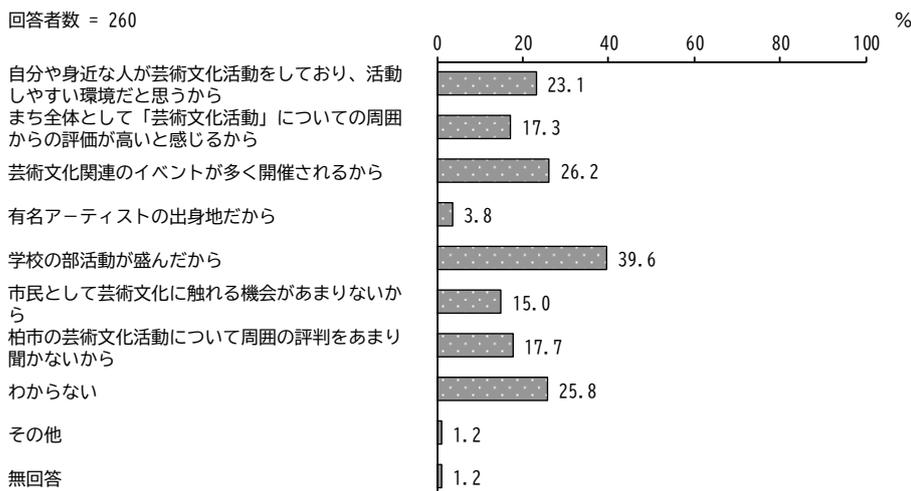
問 12 あなたは、柏市は芸術文化活動が盛んだと思いますか。(〇は1つ)

「思う」「やや思う」を合わせた「思う」の割合が 52.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた「思わない」の割合が 21.1%となっています。



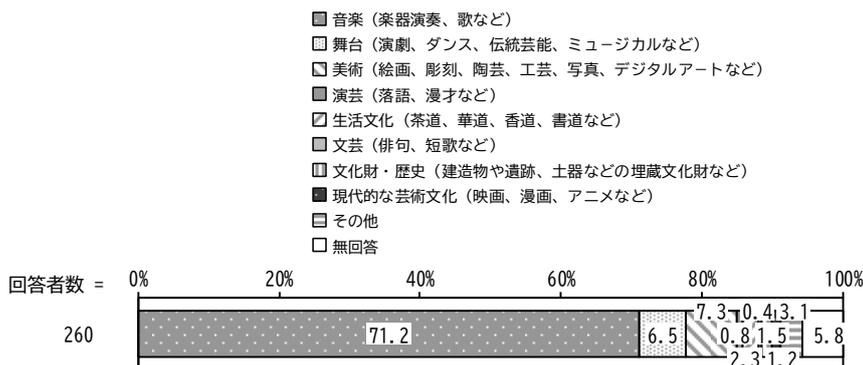
問 13 問 12 で選んだ理由は何ですか。(〇は3つまで)

「学校の部活動が盛んだから」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「芸術文化関連のイベントが多く開催されるから」の割合が 26.2%、「自分や身近な人が芸術文化活動をしており、活動しやすい環境だと思うから」の割合が 23.1%となっています。



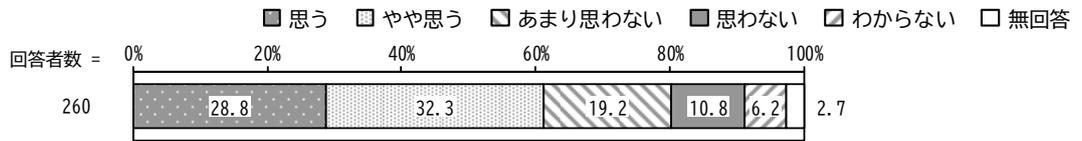
問 14 あなたが柏市で盛んだと思う活動は何ですか。(〇は1つ)

「音楽（楽器演奏、歌など）」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「美術（絵画、彫刻、陶芸、工芸、写真、デジタルアートなど）」の割合が 7.3%、「舞台（演劇、ダンス、伝統芸能、ミュージカルなど）」の割合が 6.5%となっています。



問 15 あなたは、芸術文化を鑑賞したいと思いますか。(○は1つ)

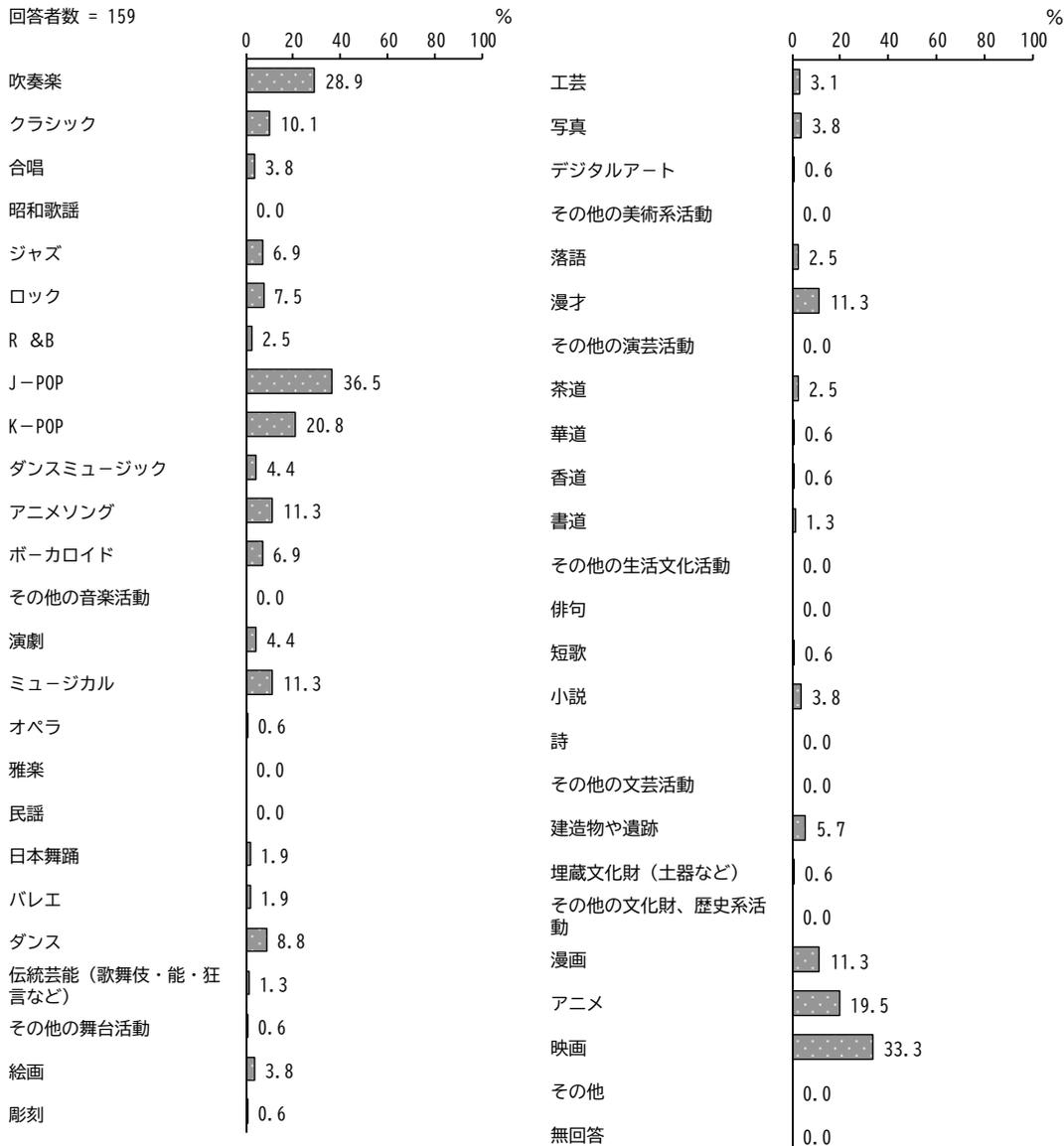
「思う」「やや思う」を合わせた“思う”の割合が 61.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が 30.0%となっています。



問 16 あなたは、今後、どのような分野の芸術文化の鑑賞をしたいですか。(○は1~49のなかから3つまで)

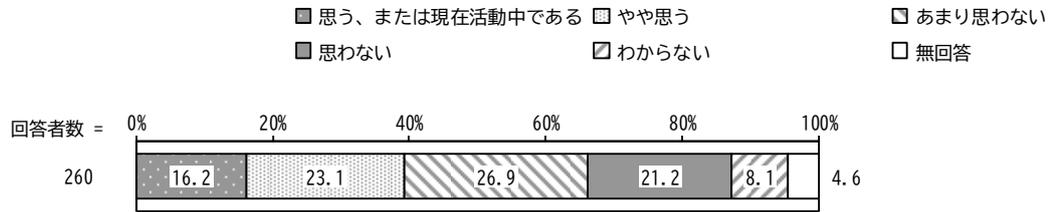
「J-POP」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「映画」の割合が 33.3%、「吹奏楽」の割合が 28.9%となっています。

回答者数 = 159



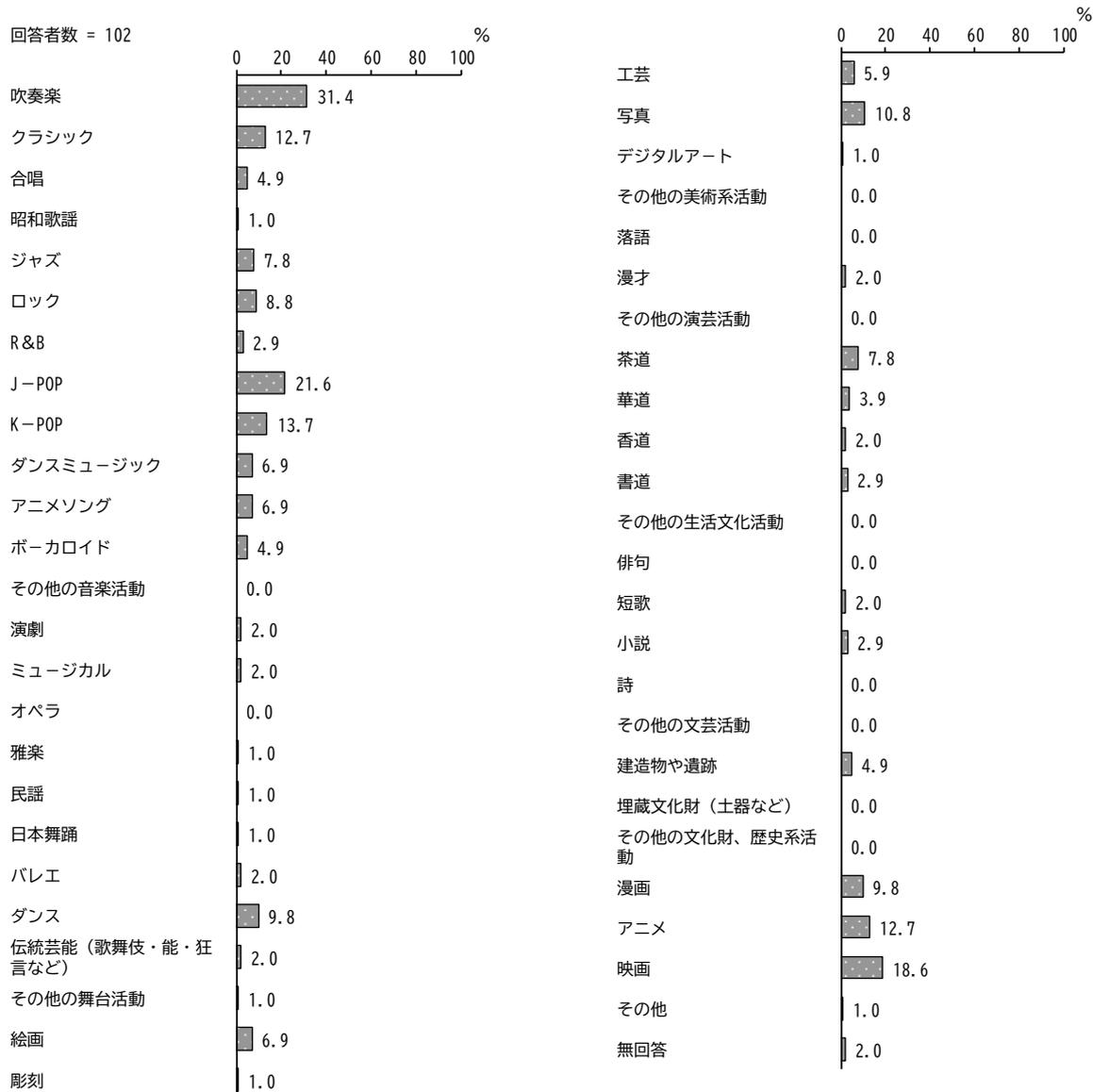
問 17 あなたは、芸術文化活動を始めたり、参加したりしたいと思いますか。(○は1つ)

「思う、または現在活動中である」「やや思う」を合わせた「思う」の割合が39.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた「思わない」の割合が48.1%となっています。



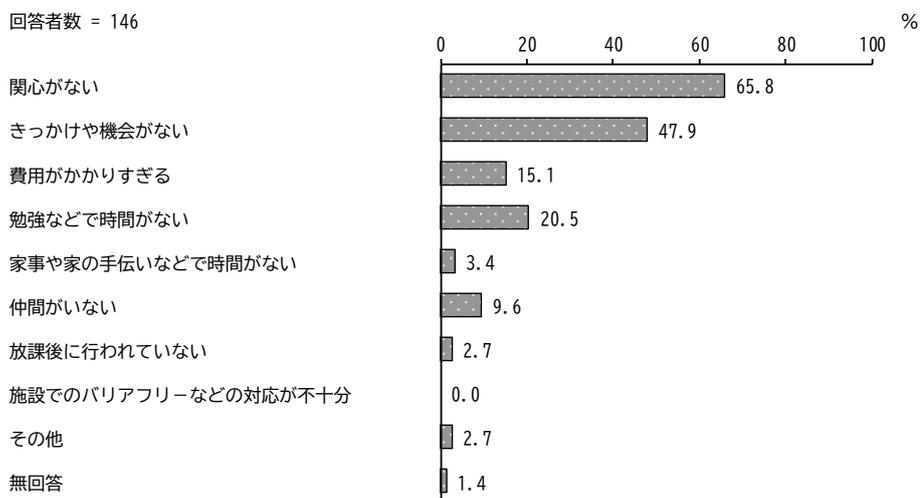
問 18 あなたは、今後、どのような分野の芸術文化に参加または活動したいと思いますか。(○は1~49のなかから3つまで)

「吹奏楽」の割合が31.4%と最も高く、次いで「J-POP」の割合が21.6%、「映画」の割合が18.6%となっています。



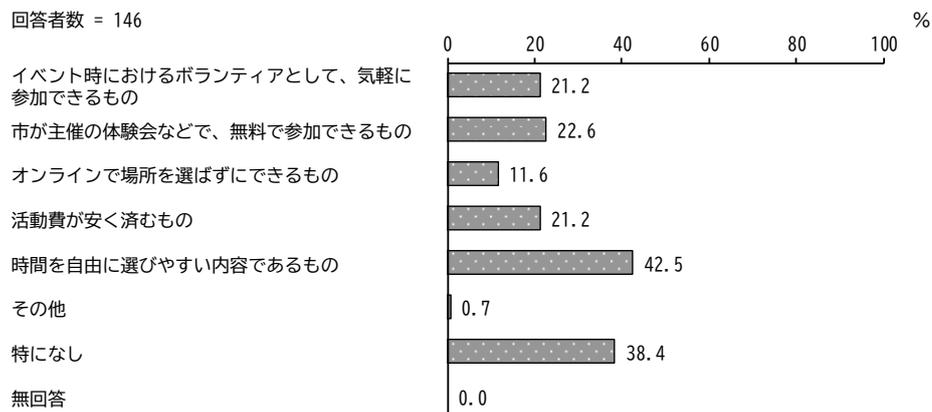
問 19 あなたが芸術文化活動を始めたり、参加したいと思わない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「関心がない」の割合が65.8%と最も高く、次いで「きっかけや機会がない」の割合が47.9%、「勉強などで時間がない」の割合が20.5%となっています。



問 20 あなたは、どのような形態であれば、芸術文化活動に関わりたいと思いますか。(〇は3つまで)

「時間を自由に選びやすい内容であるもの」の割合が42.5%と最も高く、次いで「市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの」の割合が22.6%となっています。また、「特になし」の割合は38.4%となっています。



【芸術文化活動に関わりたいと思う形態別】

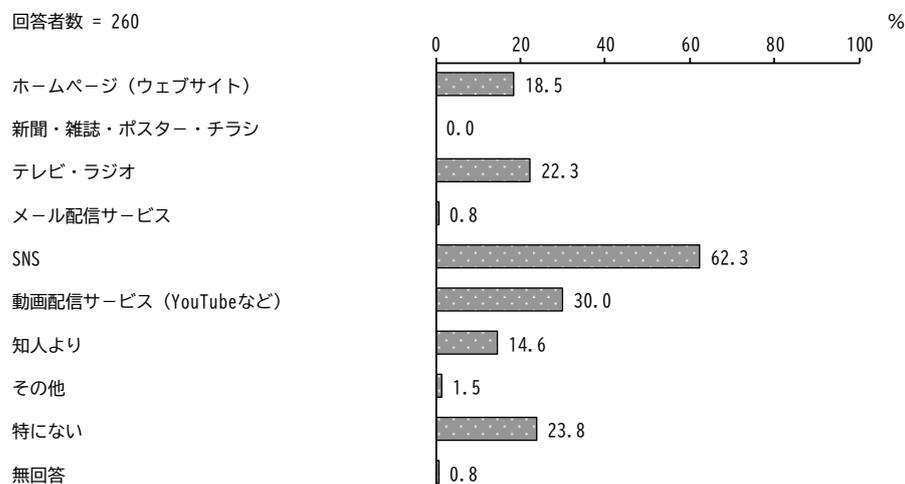
芸術文化活動に関わりたいと思う形態別にみると、「費用がかかりすぎる」について活動費が安く済むもので高く、「勉強などで時間がない」についてオンラインで場所を選ばずにできるもので高く、「放課後に行われていない」についてイベント時におけるボランティアとして、気軽に参加できるもので高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	関心がない	きっかけや機会がない	費用がかかりすぎる	勉強などで時間がない	家事や家の手伝いなどで時間がない	仲間がいない	放課後に行われていない	施設でのバリアフリーなどの対応が不十分	その他	無回答
全 体	146	65.8	47.9	15.1	20.5	3.4	9.6	2.7	—	2.7	1.4
イベント時におけるボランティアとして、気軽に参加できるもの	31	58.1	61.3	25.8	32.3	3.2	19.4	9.7	—	6.5	3.2
市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの	33	63.6	57.6	18.2	33.3	3.0	15.2	9.1	—	9.1	3.0
オンラインで場所を選ばずにできるもの	17	70.6	58.8	29.4	47.1	5.9	17.6	—	—	—	5.9
活動費が安く済むもの	31	54.8	67.7	45.2	29.0	—	12.9	3.2	—	3.2	—
時間を自由に選びやすい内容であるもの	62	59.7	59.7	27.4	30.6	—	11.3	6.5	—	3.2	1.6
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特になし	56	80.4	35.7	5.4	8.9	5.4	5.4	—	—	1.8	—

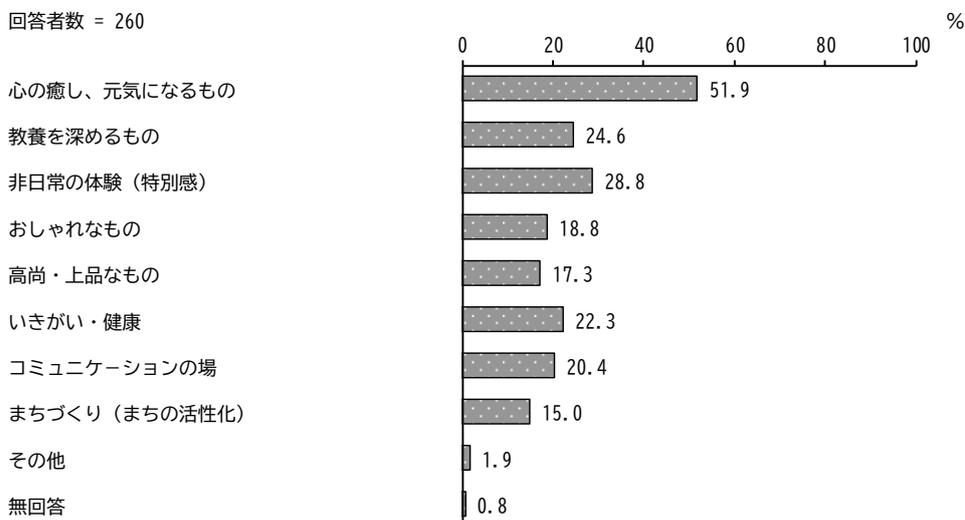
問 21 あなたは、芸術文化関連の情報を主にどのような方法で得ていますか。
(○は3つまで)

「SNS」の割合が62.3%と最も高く、次いで「動画配信サービス (YouTube など)」の割合が30.0%、「特になし」の割合が23.8%となっています。



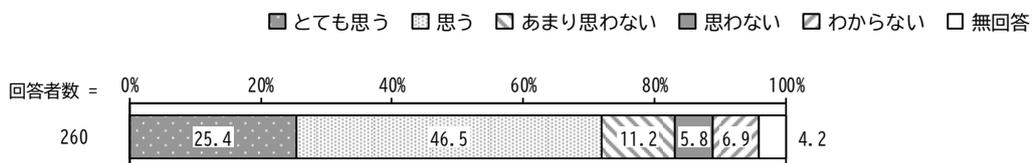
問 22 あなたは「芸術文化」についてどのようなイメージを持っていますか。
(○はいくつでも)

「心の癒し、元気になるもの」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「非日常の体験 (特別感)」の割合が 28.8%、「教養を深めるもの」の割合が 24.6%となっています。



問 23 あなたは、これからの人生において、芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思いますか。
(○は1つ)

「とても思う」「思う」を合わせた“思う”の割合が 71.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が 17.0%となっています。



【芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思うか別】

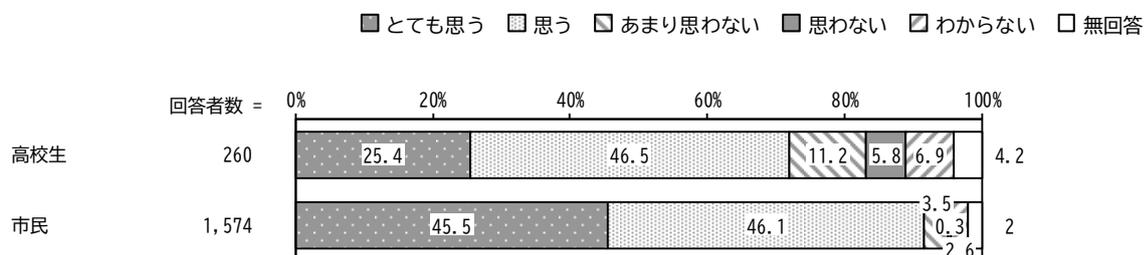
芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思うか別にみると、「きっかけや機会がない」について「思わない」と回答したかたの割合が低く、「家事や家の手伝いなどで時間がない」について「とても思う」と回答したかたの割合が高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(件)	関心がない	きっかけや機会がない	費用がかかりすぎる	勉強などで時間がない	家事や家の手伝いなどで時間がない	仲間がない	放課後に行われていない	施設でのバリアフリーなどの対応が不十分	その他	無回答
全体	146	65.8	47.9	15.1	20.5	3.4	9.6	2.7	—	2.7	1.4
とても思う	11	27.3	54.5	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	—	—	—
思う	71	60.6	56.3	18.3	26.8	1.4	14.1	2.8	—	4.2	1.4
あまり思わない	27	77.8	40.7	11.1	7.4	3.7	—	3.7	—	—	—
思わない	15	86.7	26.7	13.3	6.7	6.7	—	—	—	—	—
わからない	18	83.3	38.9	11.1	16.7	5.6	5.6	—	—	5.6	—

【市民との比較】

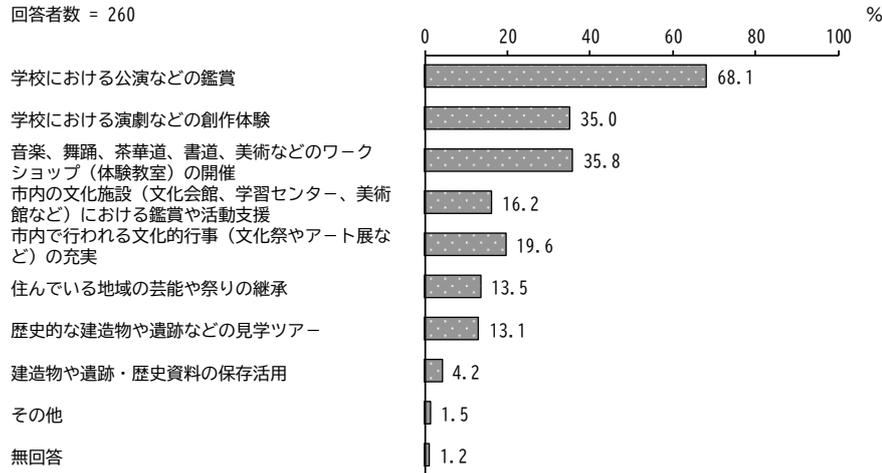
市民との比較では、「とても思う」「思う」を合わせた“そう思う”で市民の方が高くなっています。



問 24 あなたは、芸術文化を伝えていくために、柏市はどのような取組をすることが大切だと思いますか。(〇は3つまで)

「学校における公演などの鑑賞」の割合が68.1%と最も高く、次いで「音楽、舞踊、茶華道、書道、美術などのワークショップ(体験教室)の開催」の割合が35.8%、「学校における演劇などの創作体験」の割合が35.0%となっています。

回答者数 = 260



【芸術文化を伝えていくために大切だと思う取組別】

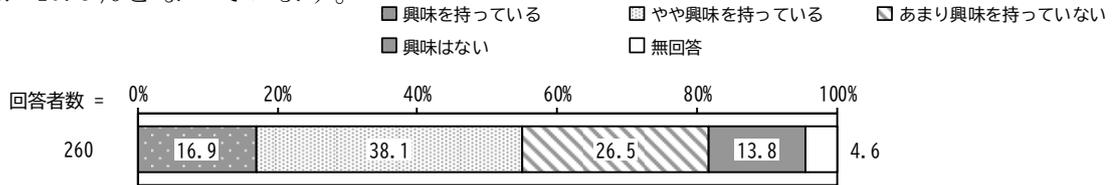
芸術文化を伝えていくために大切だと思う取組別にみると、「費用がかかりすぎる」について建造物や遺跡・歴史資料の保存活用で高く、「家事や家の手伝いなどで時間がない」について歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアーで高く、「放課後に行われていない」について市内で行われる文化的行事(文化祭やアート展など)の充実で高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(件)	関心がない	がきっかけや機会	ぎる費用がかかりすぎる	が強いなどで時間がない	家事や家の手伝いなどで時間がない	仲間がいない	放課後に行われていない	施設でのバリアフリーなどの対応が不十分	その他	無回答
全体	146	65.8	47.9	15.1	20.5	3.4	9.6	2.7	-	2.7	1.4
学校における公演などの鑑賞	96	61.5	58.3	13.5	26.0	4.2	8.3	2.1	-	2.1	1.0
学校における演劇などの創作体験	53	66.0	54.7	15.1	22.6	5.7	3.8	-	-	1.9	1.9
音楽、舞踊、茶華道、書道、美術などのワークショップ(体験教室)の開催	34	52.9	67.6	20.6	29.4	8.8	17.6	5.9	-	5.9	2.9
市内の文化施設(文化会館、学習センター、美術館など)における鑑賞や活動支援	16	56.3	50.0	25.0	6.3	-	18.8	-	-	6.3	-
市内で行われる文化的行事(文化祭やアート展など)の充実	31	83.9	35.5	22.6	25.8	3.2	9.7	9.7	-	3.2	-
住んでいる地域の芸能や祭りの継承	19	73.7	52.6	21.1	21.1	-	-	5.3	-	5.3	-
歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアー	19	68.4	47.4	15.8	31.6	10.5	10.5	5.3	-	-	-
建造物や遺跡・歴史資料の保存活用	4	50.0	75.0	50.0	-	-	25.0	-	-	-	-
その他	3	100.0	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-

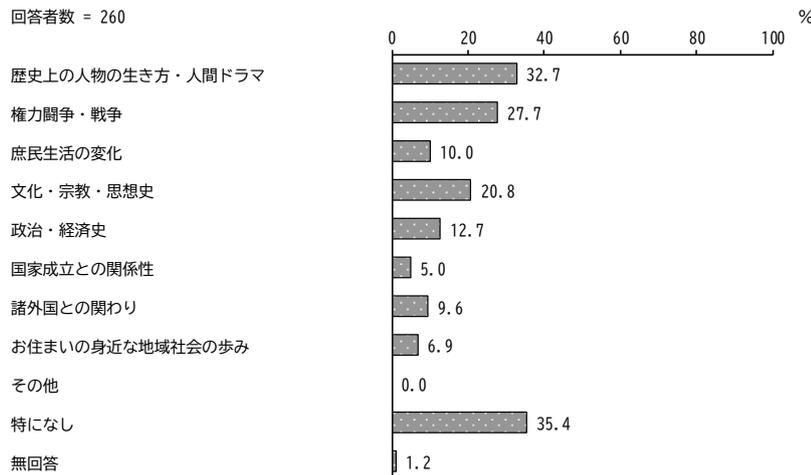
問 25 あなたは、歴史という分野についてどれくらい興味を持っていますか。(〇は1つ)

「興味を持っている」「やや興味を持っている」を合わせた「興味を持っている」の割合が 55.0%、「あまり興味を持っていない」「興味はない」を合わせた「興味はない」の割合が 40.3%となっています。



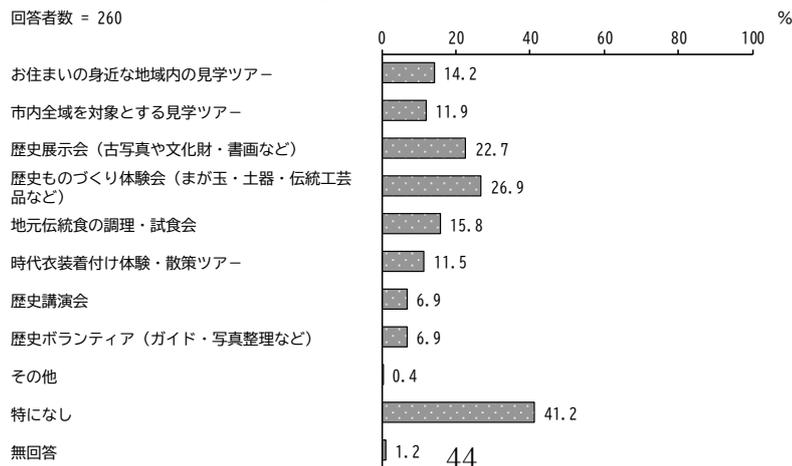
問 26 あなたは、柏の歴史のどのようなテーマに興味がありますか。(〇はいくつでも)

「歴史上の人物の生き方・人間ドラマ」の割合が 32.7%、次いで「権力闘争・戦争」の割合が 27.7%となっています。また、「特になし」の割合は 35.4%となっています。



問 27 あなたは、歴史・文化財系のイベントとして、どのようなものに参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「歴史ものづくり体験会 (まが玉・土器・伝統工芸品など)」の割合が 26.9%、「歴史展示会 (古写真や文化財・書画など)」の割合が 22.7%となっています。「特になし」の割合が 41.2%となっています。



柏市文化振興審議会 審議経過

令和6年度

第1回会議：令和6年7月4日（木）

- ・令和5・6年度芸術文化事業について
- ・次期の計画策定に向けたアンケート案について
- ・アート事業の展開について
- ・第六次柏市芸術文化振興計画策定に向けた意見交換

第2回会議：令和7年2月5日（水）

- ・柏市教育・生涯学習・芸術文化に関するアンケートの結果について
- ・第六次柏市芸術文化振興計画策定に向けた意見交換

令和7年度

第1回会議：令和7年7月4日（金）

- ・令和6・7年度芸術文化事業について
- ・第六次柏市芸術文化振興計画の諮問

第2回会議：令和7年10月〇日（〇）

- ・第六次柏市芸術文化振興計画について
- ・令和7年〇月号広報かしわ，Webにて「第五次柏市芸術文化振興計画」（案）パブリックコメントを募集

第3回会議：令和8年1月〇日（〇）

- ・第六次柏市芸術文化振興計画の答申

柏市文化振興審議会委員名簿

令和8年3月31日 現在

氏名	所属又は役職
鈴木 將 勝	柏市文化連盟会長
安久津 素 子	柏少年少女合唱団指導者
野 尻 幸 子	柏市三曲協会理事
林 久美子	柏市音楽家協会名誉会員
田 嶋 勉	作曲家，元音楽科教諭
波 木 香 里	アートディレクター，グラフィックデザイナー
福 永 明 子	日本画家，共晶点（美術展覧会）主宰
本 間 明	元かしわインフォメーションセンター職員
山 田 潤 一	県立高校弦楽部顧問，元東葛飾地区吹奏楽連盟事務局長
加 藤 義 隆	公募委員

(順不同)

任期：令和7年6月1日～令和9年5月31日

第六次柏市芸術文化振興計画

発行年月日 令和8年 4月 1日
編 集 柏市文化振興審議会
生涯学習部文化課
発 行 柏市教育委員会
〒277-8503 千葉県柏市大島田48番地1
TEL 04-7191-7403
FAX 04-7190-0892
<http://www.city.kashiwa.chiba.jp>